

第七十三回 帝國議會

議院

# 恩給金庫法案外 一件委員會議錄(速記)第七回

(一五八)

付託議案  
恩給金庫法案(政府提出)  
庶民金庫法案(政府提出)  
無盡業法中改正法律案(政府提出)

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給金庫法案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

昭和十三年二月二十六日(土曜日)午前十時  
二十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田房之助君

理事坂東幸太郎君理事小笠原八十美君

理事最上政三君 理事江藤源九郎君

理事森 幸太郎君

庄 普太郎君

小高長三郎君

曾和 義式君

池田七郎兵衛君

馬岡 次郎君

高橋 義次君

川合 直次君

服部 英明君

清水徳太郎君

松田 正一君

塙本 重藏君

今井 新造君

同日委員坪山徳彌君辭任ニ付其ノ補闕トシ  
出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 高木 三郎君

法制局長官 船田 中君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

海軍參與官 岸田 正記君

○馬岡委員 御發表出來得ナイト致シマシ  
テモ、或ル數ノ人員ハ必ず召集免除及ビ解

今ハッキリ申上ゲラレマセヌ

○加藤政府委員 傷瘍軍人其他復員ノ數ハ

厚生省ノ新設ト共ニ厚生省ニ移リマシテ、現ニ其事業ヲ繼續シテヤツテ居リマス

○馬岡委員 次ニ御尋致シタイノハ、今回

ノ事變ニ對シマシテ出征サレテ居リマスル  
漁村民ノ大多數ノ者ハ、直グニ元ノ職ニ就

除ニナツテ家庭ニ就クモノト假定スルコト  
ハ出來得ラレヤウト思フノデアリマス、其

時ニ傷瘍軍人ノ保護對策ニ對シテハ、厚生

省ニ於テモ審議會ノ答申書モ出テ居リマス、

是等ニ對スル對策ハ實施サレントシテ居ル

ノデアルカ、最早實施サレテ居ルノデアル

カ、此邊ニ付テ御尋致シタイノデアリマス

カト思ヒマスノデ、出來レバ委員長ノ手配

ヲ以テ農林當局ノ方ノ御出席ヲ要望シテ戴

キタイト思フノデアリマス

第一ニ御尋致スノハ、或ハ御發表ニナッテ

居ラレルノカモ分リマセヌガ、現在傷瘍軍

人デ最早其傷が固定シテ、近ク召集解除ニ

ナリ、兵役免除ニナツテ家庭ニ歸ルヤウナ傷

瘍軍人ノ方ハ何人程居ラレマスカ、一遍御

知ラセ願ヒタイノデアリマス

ノ夏以來内務省社會局ノ臨時ノ部トシテ設

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

云フコトニシテ、著々實行ヲ致シテ居リマ

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

ノ夏以來内務省社會局ノ臨時ノ部トシテ設

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

ノ夏以來内務省社會局ノ臨時ノ部トシテ設

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

ノ夏以來内務省社會局ノ臨時ノ部トシテ設

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

ノ夏以來内務省社會局ノ臨時ノ部トシテ設

ス、尙ほ臨時軍人援護部ト云フモノガ昨年

人達ノ中ニハ、事變ガ終了致シマシテ、召

集解除ニナレバ、或ハ恩給ノ恩典ニ浴スル

者モアリマセウ、又傷瘍軍人トシテ手當ヲ

受ケル者モゴザイマセウガ、茲ニ一つ見逃

スコトノ出來ナイ問題ハ、先日來カラ當局

ノ御説明ヲ承リマスル中ニ、唯一ツ事實上

漏レテ居ルモノガアルノデハナイカト思

フ、即チソレハ何カト申シマスト、澤山召

集サレテ居リマスル者ノ中カラ、事變ガ終

了スルナラバ、必ズ召集解除ニ依ツテ家庭ニ

歸ル者ガ出テ來ルノハ當然デアリマスガ、

是等ノ中ニハ恩給ニモ浴シ得ナイ者、又出

征中軍事扶助ヲ受ケ得タ者モアリマセウ

ガ、受ケ得ナイ者モ澤山アルノデアラウト

思ヒマスルガ、是ノ決定ヲ見ルニハ非常ニ

長イ間掛ル、其間原隊ニ復歸シ、召集解除

ニナルト致シマシテモ、職ヲ持ツテ居ッタ者デ

アルナラバ、元ノ職ニ就カセル當局ノ御配

慮、又就職口ノ配慮ニ依ツテ元ノ職ニ就クコ

トガ出來マセウガ、中小商工業者及ビ農山

漁村民ノ大多數ノ者ハ、直グニ元ノ職ニ就

キ得ルカト申シマスト、長ラク戰地ニ行ッテ居ツタ關係上、隣保相助ニ依ッテ色々御世話ハ受ケテ居ルトハ言ヒナガラ、周圍ノ事情カラ、復歸シタカラト言ッテ直グニ是ガ元ノ職ニ就クコトハ困難デナカラウカ、事實困难デアルト思ハレルノデアリマス、是等ニ對シマシテハ、其間直グニ仕事ニ取掛リ得ルヤウニ、何等カノ御手配、御手當ノ御考ガアルノデアルカ、ナイノデアルカ、此問題ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○加藤政府委員 馬岡君ガ御質問ニ相成リマシタノハ、不日歸還スペキ應召者ノ職業回復ノ問題デアラウト思ヒマス、ソレハ農村ニ於キマシテモ、或ハ山村、漁村其他ニ於ケル者デモ、直チニ其業ニ從事スルコトガ出來マスレバ結構デアリマスケレドモ、事實上暫ク生業ヲ離レテ居ツタ關係上、困難ヲ感ズル場合ガナシト致シマセヌ、殊ニ労働者ノ方面デ申シマスルト、雇傭者ノ關係モアリ、雇傭サレテ居ツタ事業ノ關係モアリ、直チニ復員後其職ニ復スルコトガ出來兼ネル場合モアラウト存ジマス、ソレデアリマスカラ、今御質問ニ相成リマシタヤウニ、今後行賞ニ依ッテ賜ルモノハ是ヘ別デアリマス、又恩給ヲ戴ク者モ是ヘ別デアリマス

ス、サウ云フコトノナイ者デ、直グニ農村ニ於ケル人、山村ニ於ケル人、或ハ漁村ニ於ケル人、或ハ純勞働ニ從事シテ居ル人々ニ對スル保護ノコトニ關シマシテハ、是ハ體的ニ協議ヲ進メテ居ルノデアリマス、其分類ヲ私カラ申上ゲマスルト、確定ハ致シテ居リマセヌケレドモ、其内容ヲ少シク御理解ノ御便利ノ爲ニ申上ゲマスルガ、援護資金ト申シマシテ、一つハ事業ニ關係スル事業資金ト申シマスルカ、此方ハ農業ニ從事シテ居ル者デモ、山村ニ於テ働くテ居ル人デモ、漁村ニ於テ働くテ居ル人デモ包含之ニ入ルト思ヒマス、モウツハ労働者ノ方デ、勞務資金ト申シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、此方ノ人々デモ、例ヘバ甲地デ労働ヲシテ居ル人ガ雇傭ノ關係デ乙地ニ行クトカ、或ハ遠隔ノ土地ニ參リマストカ、雇傭關係デ場所ヲ移轉スル場合ガアリマス、サウ云フヤウナ場合、或ハ原隊カラ勞働ヲシテ居ツタ工場所在地ニ轉住ヲ希望スル場合ノ經費ノ如キ、色々考慮致シマシテ、

此兩方ノ保護ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、目下具體的ニ協議ヲ致シテ、稍、安心ハ得ラレルノデアリマスル  
○馬岡委員 今加藤次官ノ御説明ヲ承リマス、其金額及ビ金額ノ起算ノ點ナド

ニ付キマシテハ、マダ此處デ發表スル迄ニハ參ツテ居リマセヌガ、不日是ハ具體化シヨウト思ヒマス、此事ハ政府ト致シマシテハ、ドウシテモ打棄テ置クコトノ出來ナイ問題デアリマシテ、殊ニ農村ニ於ケル地主階級ニ對スル保護ノコトニ關シマシテハ、是ハ體的ニ協議ヲ進メテ居ルノデアリマス、其分類ヲ私カラ申上ゲマスルト、確定ハ致シテ居リマセヌケレドモ、其内容ヲ少シク御理解ノ御便利ノ爲ニ申上ゲマスルガ、援護資金ト申シマシテ、一つハ事業ニ關係スル事業資金ト申シマスルカ、此方ハ農業ニ從事シテ居ル者デモ、山村ニ於テ働くテ居ル人デモ、漁村ニ於テ働くテ居ル人デモ包含之ニ入ルト思ヒマス、モウツハ労働者ノ方デ、勞務資金ト申シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、此方ノ人々デモ、例ヘバ甲地ニ行クトカ、或ハ遠隔ノ土地ニ參リマストカ、雇傭關係デ場所ヲ移轉スル場合ガアリマス、サウ云フヤウナ場合、或ハ原隊カラ勞働ヲシテ居ツタ工場所在地ニ轉住ヲ希望スル場合ノ經費ノ如キ、色々考慮致シマシテ、

此兩方ノ保護ヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、目下具體的ニ協議ヲ致シテ、稍、安心ハ得ラレルノデアリマスル  
○馬岡委員 今加藤次官ノ御説明ヲ承リマス、其金額及ビ金額ノ起算ノ點ナド

ニ付キマシテハ、マダ此處デ發表スル迄ニハ參ツテ居リマセヌガ、不日是ハ具體化シヨウト思ヒマス、此事ハ政府ト致シマシテハ、ドウシテモ打棄テ置クコトノ出來ナイ問題デアリマシテ、殊ニ農村ニ於ケル地主階級ニ對スル保護ノコトニ關シマシテハ、是ハ體的ニ協議ヲ進メテ居ルノデアリマス、其分類ヲ私カラ申上ゲマスルト、確定ハ致シテ居リマセヌケレドモ、其内容ヲ少シク御理解ノ御便利ノ爲ニ申上ゲマスルガ、援護資金ト申シマシテ、一つハ事業ニ關係スル事業資金ト申シマスルカ、此方ハ農業ニ從事シテ居ル者デモ、山村ニ於テ働くテ居ル人デモ、漁村ニ於テ働くテ居ル人デモ包含之ニ入ルト思ヒマス、モウツハ労働者ノ方デ、勞務資金ト申シタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、此方ノ人々デモ、例ヘバ甲地ニ行クトカ、或ハ遠隔ノ土地ニ參リマストカ、雇傭關係デ場所ヲ移轉スル場合ガアリマス、サウ云フヤウナ場合、或ハ原隊カラ勞働ヲシテ居ツタ工場所在地ニ轉住ヲ希望スル場合ノ經費ノ如キ、色々考慮致シマシテ、

ニ對シマシテ、特ニ何等カノ軍事扶助ノ增額デアルトカ、特別ノ手當デアルトカ云フ  
ヤウナモノヲ御出シニナル御意思ガアルカ  
ドウカ重ネテ御伺致スノデアリマス

○加藤政府委員 應召者ノ家族ニ對シテノ  
軍事扶助ノ問題デアリマスルガ、是ハ理想  
カラ申シマスト、皆平等デアルノガ本當ダ  
ト思ヒマス、併シ實際ノコトヲ申シマスト、  
事變突發以後各方面例ヘバ官公吏、銀行會  
社員其他ノ者デ、應召中ト雖モ俸給、手賞、  
日給ノ如キモノハ從前通り支給スルト云フ  
コトニ端ヲ發シマシテ、暫ク繼續致シテ居ッ  
タノデ、今馬岡君ノ言ハレタヤウニ、前々  
議會ニ於テサウ云フ問題ガアツタト思ヒマ  
ス、ソレデアリマスガ、現在ノ實際カラ申  
シマスルト、銀行會社アタリデ應召者ニ對  
シテハ、最初ノ三箇月位ハ給與シタトカ、  
或ハ其後實收入ノ差額ダケ給與スルトカ、  
色々ノコトヲ講ジテ居ルヤウニ仄聞致シテ  
居リマス、ガ併シ是ハ國家ガ官吏デアレバ  
多少ノ手心ハ出來ヤウト思ヒマス、ケレド  
モ銀行、會社、民間ノ人々ニ對シテ強制ス  
ルト云フ方法ハ餘程是ハ困難デアリマス、  
スルコトハ困難デアリマス、デアリマスル  
カラ、好意デ以テヤッテ吳レテ居ル結果ガ不

公平ニナル、此不公平ハドウモ已ムヲ得ナ  
シマスルト、サウ云フコトハ段々減リツ、  
アルノデアリマス、ソレデ馬岡君ハ其缺點  
ヲ軍事扶助ノ方デ補フコトハ出來ヌカト云  
承知ノ通りニ、軍人ノ家族ニ對シテ、軍人  
ノ家族タル體面ヲ失墜セシメナイコトヲ目  
標ト致シテ居リマス、ソレデアリマスカラ、最底  
ト申シマスカ、所謂其土地ノ實情ニ應ジテ、  
生活ヲ扶助シテ行クト云フコトガ立前ニナツテ  
居ルノデアリマスカラ、多少不公平ナモノ  
ガアツテ、俗ニ言フ旨イコトヲシテ居ル者ガ  
アルト申シマシテモ、ソレヲ目標トシテ  
軍事扶助ノ増額ヲ考ヘルコトハ或ハ出來ナ  
イデヤナイカ、斯ウ思ハレルノデス、要ハ  
唯軍人ノ家族ガ、生活ニ十分ト迄ハ行キマ  
セヌデモ、著シキ苦痛ヲ感ジナイヤウニ、  
著シク體面ヲ墜サナイヤウニ、ソレヲ扶助  
シテ行クコトニ軍事扶助ノ立前ガ出來テ居  
ルト信ジテ居ルノデアリマス、デアリマス  
カラ、當初ノ軍事扶助ノ金額ヲ約二割内外  
増加シマシテ、是デ以テ先ツ其目的ヲ達セ  
ナイノデアリマセウ、併シ又是モ過ギタル

ハ及バザルガ如シデ、餘り多クナリマスベ  
バ、出征兵ノ爲ニ生活ガ却テ樂ニナルト云  
フコトニナルコトハ能ク御承知ノ通リデア  
リマス、是ハ少數ノ例デアリマスケレドモ  
サウ云フコトニナラナイヤウニ、ソレカト  
云ツテ又國家ガ軍事扶助ト云フ銘ヲ打ッテ始  
メマシタ此軍人ノ家族ニ對スル生活ノ扶助  
ガ、足ラナイ程度ニシテ居ツテモ亦是ハ宜シ  
クナイノデアリマス、要スルニ彼ヤ此ニ由  
庸ヲ得テ居ル程度ノ扶助金額、斯ウ云フ程  
度デ満足セザルヲ得ナイヤウナ場合デアル  
ノデアリマス、併シ吳々モ農村ニ於ケル人々、  
漁村ニ於ケル人々、山村ニ於ケル人々、  
其他中小商工業者——准勞働者及ビ准勞働  
者ト看做スキ是等商工業者ニ對シテ困ラ  
ナイヤウニ軍事扶助ノ目的ヲ達スル、是ガ  
純軍事扶助ノ金額バカリデナク、又先程墨  
岡君ノ言ハレマシタヤウニ、隣保共助ノ美  
風ニ依ルコトモ勿論デアリマスガ、又同時  
ニ地方ノ財政其他ニ著シイ支障ヲ生ジナ  
限リハ、地方々々デソレド<sup>シ</sup>計畫施行シテ  
吳レテ居リマスル軍事扶助法以外ノ援護  
金其他ニ依ツテ大體此目的ハ達シ得ラレキ  
ウト思ヒマス、ケレドモ今馬岡君ノ言ハレ  
タ御趣旨ノ程ハ私共能ク謹ンデ拜聽致シテ

○馬岡委員　御事情へ能ク分々タノデアリ  
マスルガ、實際民間ニ在リマスル者ト致シ  
マシテ、日夜耳ニ致シマスノハ、遺憾ナガ  
ラ此間ノ不平ノ聲ヲ聞クノデアリマス、銃後ノ  
守リヲヨリ以上ニセナケレバナラヌ時ニ、  
斯ル聲ヲ聞クト云フコトハ、聖代ノ不祥事  
デナカラウカ、恩澤普遍デナケレバナリマ  
セヌノニ、惠マレタル者ト惠マレザル者ノ  
アルコトハ、將來禍根ヲ貽スモノガアラウ  
ト思ハレルノデアリマス、殊ニ一時政府當局ニ  
於カレテハ、是等ノ不公平ハ能ク考慮スルト  
御發表ニナッテ居リマス、願クバ此問題ニ對シ  
テハ、一時モ早ク政府當局ノ意ノ在ル所ヲ  
御發表願ヒ、成ベク斯ウ云フ聲ノ出ナイヤウ  
ニ御題致シタインデアリマス、殊ニ隣保共助ノ  
美風ニ依ツテ之ヲ補フトハ申シマシテモ、最  
モ困ル問題ハ中小商工業者ノ中ニ一ツアル  
ノデアリマス、一例ヲ申シマスト、魚屋ノ  
如キモノハ隣保共助ニ依ラントシテモ仕入  
ガ出來ナイ、又問屋カラ仕人ヲ致シテ貰ハ  
ウト致シマシテモ、御得意ノ状況ニ依ツテ問  
屋自身デハ分ラナイ、其者自身ガヤラナケ  
レバ出來得ナイ商賣デアリマス、假ニ幾分  
家庭ノ資産ガアッテ、家ヲ持ツテ居ルト云フ  
爲ニ、軍事扶助ノ恩典ニモ浴スルコトガ出  
來ナイ、而モ商賣ハ止ツテシマッテ居ル、斯

ウ云フ者ガ一方ニアリ、一方ニハ官吏デア  
リ、公吏デアル爲ニ、生活ノ保障ヲ受ケテ  
居ル、而モ是ガ同ジク干城トシテ命ヲ的ニ  
付ケラレマスト、茲ニ怨嗟ノ聲ガ自然ニ起ツ  
テ來ルノデアリマス、斯ル問題ヘ能ク御調  
査ノ上何トカ願ヒタイ、是ハ私ヘ少シ考へ  
マヌニ、物的ヨリモ心的ノ問題デアリマス、  
假令口ダケデモ之ヲ慰問シ、慰メテヤリ得  
ルナラバ、斯ル聲モ幾分カ薄ラグノデアル、  
延イテハ現在ノ中小商工業者、農山漁村民  
ノ如キ孜々トシテ働く者ニ、月給取  
ニナラナケレバ國家ノ人間デナイト云フ感  
ジヲ持タセルコトガ將來ドウデアラウカ、  
之ヲ考ヘマスル時ニ、政府ハ此問題ニ對シ  
マシテハ、イマ一層御考慮ヲ願ヒ、一日モ  
早ク此不公平ノナイヤウニ御願致シタイノ  
デアリマス、又當局ニ於テノ御發表ヲ御願  
スルノデアリマス

次ニ恩給金庫ノ方面ニ付テ御尋致シタイ  
ト思ヒマス、恩給金庫ノ三千万圓ノ資金ハ  
タノデアリマスガ、其時ノ御言明ニハ、一  
部ハヤハリ民間カラ御取リニナルト云フコ  
トデアツクカノヤウニ承ツタノデアリマスガ、  
此間ノ當局ノ御答辯ニ依ツテ大體了承シ

カラ、三千万圓ノ中政府出資ノ五百万圓ノ  
残ハ何處ニ出資セシメルノデスカ、又之ヲ  
民間ナラ民間デヤル、又關係團體デヤルト  
云フコトノ御見込ガ付イテ居ルノデアルナ  
ラバ、具體的ニ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス

安イ金ヲ借入レルコトガ金庫運用上利益デ  
アルト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、此  
金庫ノ資金ヲ得ル方面ノ如何ニ依ッテハ、配  
當其モノガ目的デナクシテ、事業其モノガ  
目的トナルノデアリマスカラ、生命保険會  
社ノ金ヲオ入レニナルノモ結構デアリマス  
ガ、實際ノ金庫ノ性質カラ見ルナラバ、他  
ノ方面ニ此資金ヲ得ル所ハナイデアリマセ  
ウカ、又政府ハ金庫ノ運營上六百万圓ノ拂  
込デ資金ハ自由自在ニ得ラレルト云フコト  
ヲ承ッタノデアリマスガ、現在ノ社會情勢、  
色々ノ半官半民ノ會社ヲ御作リニナッテ出  
資ヲナサリ、又ナサラントスル、而シテ是  
等ノ會社デハ必ズ借入金ガ伴ッテ居リマス  
ガ、此戰時體制ニアル時ニ、最モ急ヲ要ス  
ル事業會社ナリ、是等ノ社會施設ノモノ  
ガ、一時ニ資金ヲ要求スル時ニ、政府御  
見込ノ通り此資金ハ完全ニ得ラレルノデ  
アリマスカ、殊ニ此恩給金庫ノ企畫目論見  
書ヲ拜見シマスト、恩給債券ノ發行ヲ目的  
トスルナラバ、是ハ事業年度三年後ニハ最  
早十分ニ出來ナイノデアリマス、サウスレ  
バ恩給債券ト借入金ト併行シテ行クヨリ仕  
方ガナイト私ハ思フ、然ルニ歩高ノ金

ヲ借ルナラバ、イザ知ラズ、經營スル者トシテハ、ヨリ以上ノ安イ金ヲ借リナケレバナラヌ、安イ金ヲ借ルトスレバ政府方面ノ資金ヲ得ルヨリ外ニ手ガナイ、其時ニ是ダケデアルナラバ兎モ角モ、此種ノ金ヲ目的トシテ政府自體ガオヤリニナツテ居ル仕事ガ非常ニ多イヤウニ思フ、此時ニ此企畫目論見通リニ必ズ自由自在ニ此金ガ入ルト云フ御見込ガ立ツテ居ルノデアリマスカ、幾分ノ不安ヲ持チナガラモ斯ウシナケレバナラヌ爲ニ、斯ウ御發表ニナツテ居ルヤウニモ思ヒマスノデ、重ネテ御尋致シマス

ガ、可ナリ餘裕ガアル、一面カラ言ヘバ餘  
リ餘裕ガアリ過ギルト云フ風ニ御考ニナル  
カモ分ラヌト思ヒマスガ、例ヘバ貸付金ニ  
シテモ滿額マデ金ガ少シモ残ラナイヤウニ  
貸スト云フコトデハナクシテ、多少手許ニ  
準備資金ヲ潤澤ニ置イテ貸ス、又利子ノ方  
面ニ付キマシテモ、サウ手一杯ト云フコト  
デナク、十分金庫ガ立行クヤウニト云フコ  
トデ、餘裕ノアル計算ヲ立て居ルノデア  
リマス、ソレデアリマスカラ私共ノ考ヘテ  
居リマスル所ニ依リマスト、先ツ資金ノ點  
ニ付テハ何等懸念スル所ガナイト考ヘテ居  
リマス

○馬岡委員 次ニ御尋致シマスルノハ、受  
恩給者ノ中デ、之ヲ擔保トシテ現在借入  
レテ居ル推定金額及び推定人員ハドレ位デ  
アルカ、御調ガアリマシタラ御發表ヲ願ヒ  
マス

○高木政府委員 是ハ先日モ慥力申上ゲタ  
ヤウニ記憶致シテ居リマスガ、其正確ナ數  
ヲ調査スルコトハ實ハ困難ナノデアリマス、  
ソレハ擔保金融ノ場合ニ一般ニ取ッテ居リマ  
ス形式ガ、概ね代理受領ト云フコトニナッテ  
居リマシテ、本人ノ代理トシテ受取ルト云  
フ形式デアリマス、中ニハ本人ナルガ如ク  
裝ウテ取ッテ居ル者モ大分アルヤウニ聞イテ

居リマス、隨テサウ云フ場合ニ於テハ支給  
局デアリマス、郵便局ガ、果シテ本人デア  
ルカドウカト云フコトモ、實ハ調査ガ出來  
マセヌノデ、正確ナ數ヲ申上ゲルト云フコ  
トガ出來ナインデアリマスケレドモ、大體  
代理受領ヲ通ジテ調べマシタ所ノ状態ニ依  
リマスト、一割九分、約二割ト云フコトニ  
ナッテ居リマス、ソコデ私共ノ豫想致シテ居  
リマスノハ、支給額ノ二割乃至二割五分程  
度デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○馬岡委員 二割乃至二割五分ト致シマス  
ルト、相當ノ數字ニ上ルヤウニ思フノデア  
リマス、然ル所、昨日ノ松田君ノ質問ニ對  
シテ當局ハ民間ノ擔保貸付モ之ヲ大體認メ  
ザルヲ得ナイデ默認ノ形ニアル、又此金庫  
ガ設立サレルナラバ、是等ノ方面ニアルモ  
ノモ、之ヲ乘換ヘル意思ガアルカノヤウニ  
御發表ニナッタモノト存ジマス、斯ク致シマ  
スト、中々此乗換ニ對シマシテハ、今ノ企  
業目論見ノ内容案ヲ拜見致シマシタノデハ、  
十箇年後デナケレバ、殆ド是等ノ金額ノ乘  
換ガ出來ナイカノヤウニ見受ケラレルノデ  
アリマス、此間一方ハ又昨日松田君ノ御尋  
問ノ金ガ十箇年分一遍ニ飛ンデシマフコ  
トニナルノデアリマス、是ハ中々出來得ラ  
ヘルコトモ、左程困難デハナイノデアリマ  
ス、所ガ個々ノ金融業者ノ關係ニナリマス  
ト、是ハ利息ノ關係ヤ、其他ノ關係デ、技  
術的ニ考ヘマシテモ到底一時ニ乘換ヘルト  
云フヤウナコトハ不可能ダト考ヘマス、隨  
テ協定ノ付イタモノカラ實質的ニ借換ヘル  
ト云フコトニナリマスレバ、サウ一時ニ資

居リマス、隨テサウ云フ場合ニ於テハ支給  
局デアリマス、郵便局ガ、果シテ本人デア  
ルカドウカト云フコトモ、實ハ調査ガ出來  
マセヌノデ、正確ナ數ヲ申上ゲルト云フコ  
トガ出來ナインデアリマスケレドモ、大體  
代理受領ヲ通ジテ調べマシタ所ノ状態ニ依  
リマスト、一割九分、約二割ト云フコトニ  
ナッテ居リマス、ソコデ私共ノ豫想致シテ居  
リマスノハ、支給額ノ二割乃至二割五分程  
度デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○馬岡委員 二割乃至二割五分ト致シマス  
ルト、相當ノ數字ニ上ルヤウニ思フノデア  
リマス、然ル所、昨日ノ松田君ノ質問ニ對  
シテ當局ハ民間ノ擔保貸付モ之ヲ大體認メ  
ザルヲ得ナイデ默認ノ形ニアル、又此金庫  
ガ設立サレルナラバ、是等ノ方面ニアルモ  
ノモ、之ヲ乘換ヘル意思ガアルカノヤウニ  
御發表ニナッタモノト存ジマス、斯ク致シマ  
スト、中々此乗換ニ對シマシテハ、今ノ企  
業目論見ノ内容案ヲ拜見致シマシタノデハ、  
十箇年後デナケレバ、殆ド是等ノ金額ノ乘  
換ガ出來ナイカノヤウニ見受ケラレルノデ  
アリマス、此間一方ハ又昨日松田君ノ御尋  
問ノ金ガ十箇年分一遍ニ飛ンデシマフコ  
トニナルノデアリマス、是ハ中々出來得ラ  
ヘルコトモ、左程困難デハナイノデアリマ  
ス、所ガ個々ノ金融業者ノ關係ニナリマス  
ト、是ハ利息ノ關係ヤ、其他ノ關係デ、技  
術的ニ考ヘマシテモ到底一時ニ乘換ヘルト  
云フヤウナコトハ不可能ダト考ヘマス、隨  
テ協定ノ付イタモノカラ實質的ニ借換ヘル  
ト云フコトニナリマスレバ、サウ一時ニ資

設ケナガラ、一方デハ一時ニ之ヲ乘換ヘテ  
シマハナイ爲ニ、其金ガ遊ンデ居ル、一方  
換ヲスレバ之ヲ一遍ニ乘換ヘナケレバ却テ  
トニナリハシナイダラウカト云フ風ニ考ヘ  
ハ又別ニ尾儲ガ付イテ行クト云フヤウナコ  
トガ出来ナインデアリマスケレドモ、大體  
代理受領ヲ通ジテ調べマシタ所ノ状態ニ依  
リマスト、一割九分、約二割ト云フコトニ  
ナッテ居リマス、ソコデ私共ノ豫想致シテ居  
リマスノハ、支給額ノ二割乃至二割五分程  
度デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○馬岡委員 二割乃至二割五分ト致シマス  
ルト、相當ノ數字ニ上ルヤウニ思フノデア  
リマス、然ル所、昨日ノ松田君ノ質問ニ對  
シテ當局ハ民間ノ擔保貸付モ之ヲ大體認メ  
ザルヲ得ナイデ默認ノ形ニアル、又此金庫  
ガ設立サレルナラバ、是等ノ方面ニアルモ  
ノモ、之ヲ乘換ヘル意思ガアルカノヤウニ  
御發表ニナッタモノト存ジマス、斯ク致シマ  
スト、中々此乗換ニ對シマシテハ、今ノ企  
業目論見ノ内容案ヲ拜見致シマシタノデハ、  
十箇年後デナケレバ、殆ド是等ノ金額ノ乘  
換ガ出來ナイカノヤウニ見受ケラレルノデ  
アリマス、此間一方ハ又昨日松田君ノ御尋  
問ノ金ガ十箇年分一遍ニ飛ンデシマフコ  
トニナルノデアリマス、是ハ中々出來得ラ  
ヘルコトモ、左程困難デハナイノデアリマ  
ス、所ガ個々ノ金融業者ノ關係ニナリマス  
ト、是ハ利息ノ關係ヤ、其他ノ關係デ、技  
術的ニ考ヘマシテモ到底一時ニ乘換ヘルト  
云フヤウナコトハ不可能ダト考ヘマス、隨  
テ協定ノ付イタモノカラ實質的ニ借換ヘル  
ト云フコトニナリマスレバ、サウ一時ニ資

居リマス、隨テサウ云フ場合ニ於テハ支給  
局デアリマス、郵便局ガ、果シテ本人デア  
ルカドウカト云フコトモ、實ハ調査ガ出來  
マセヌノデ、正確ナ數ヲ申上ゲルト云フコ  
トガ出來ナインデアリマスケレドモ、大體  
代理受領ヲ通ジテ調べマシタ所ノ状態ニ依  
リマスト、一割九分、約二割ト云フコトニ  
ナッテ居リマス、ソコデ私共ノ豫想致シテ居  
リマスノハ、支給額ノ二割乃至二割五分程  
度デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス  
○馬岡委員 二割乃至二割五分ト致シマス  
ルト、相當ノ數字ニ上ルヤウニ思フノデア  
リマス、然ル所、昨日ノ松田君ノ質問ニ對  
シテ當局ハ民間ノ擔保貸付モ之ヲ大體認メ  
ザルヲ得ナイデ默認ノ形ニアル、又此金庫  
ガ設立サレルナラバ、是等ノ方面ニアルモ  
ノモ、之ヲ乘換ヘル意思ガアルカノヤウニ  
御發表ニナッタモノト存ジマス、斯ク致シマ  
スト、中々此乗換ニ對シマシテハ、今ノ企  
業目論見ノ内容案ヲ拜見致シマシタノデハ、  
十箇年後デナケレバ、殆ド是等ノ金額ノ乘  
換ガ出來ナイカノヤウニ見受ケラレルノデ  
アリマス、此間一方ハ又昨日松田君ノ御尋  
問ノ金ガ十箇年分一遍ニ飛ンデシマフコ  
トニナルノデアリマス、是ハ中々出來得ラ  
ヘルコトモ、左程困難デハナイノデアリマ  
ス、所ガ個々ノ金融業者ノ關係ニナリマス  
ト、是ハ利息ノ關係ヤ、其他ノ關係デ、技  
術的ニ考ヘマシテモ到底一時ニ乘換ヘルト  
云フヤウナコトハ不可能ダト考ヘマス、隨  
テ協定ノ付イタモノカラ實質的ニ借換ヘル  
ト云フコトニナリマスレバ、サウ一時ニ資

フ必要ガアリマスレバ、借入金ハ必シモ恩給財源ノミニ俟チマセヌデ、一般借入金ヲスル積リデアリマスケレドモ、又ソレニ對シマシテハ、相當ノ利息サヘ出シマスレバ、或ル程度ノ資金ヲ得マスコトハ左程困難デハナイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 能ク分リマシタ、然ラバ民間ニアルモノハ交渉ノ付イタモノカラ乗換ヘルト致シマシテモ片付キマセウ、幾分カノ不利益ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、ボツ／＼デモ片付キマセウ、併シサウ致シマスニハ、現在ノ企業自論見ニ依リ東京ニ主體ヲ置イテ、六大都市ニ其出張所ヲ置クダケデ、是ガ出來得ルノデアリマスカ、結局此企業カラ行クナラバ、所謂都會中心主義ニナッテシマッテ、比較的バラ撒カレテ居リマス

中小商工業者及び農村方面ニ於ケル受恩給者、而モ比較的はハ少額ノ恩給ヲ受ケテ居ル者ガ多イノデアリマシテ、且ツ零細ナ資金ニ因ルモノガ多イノデアリマス、是等ノ者ガ却テ恩恵ニ浴シナイ、都會ニ生活シテ居ルモノガ此恩恵ニ浴スルト云フヤウナ結果ニナリハシナイカ、是ハ今少シ方法ヲ變ヘテ行クノデナケレバ、實際受恩給者其モノガ一部ノ人ノミノ活用機關トナリ、真ニ困ツテ居ル者ノ活用機關ニハナラナイノデ

ハナカラウカト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテ御考ヲ承リタイノデアリマス

○高木政府委員 金庫ノ支所其他取扱ヒ方ニ付キマシテハ、尙ほ研究ノ餘地ガ十分ニアルト考ヘテ居リマス、併シ差向キノ問題ト致シマシテハ、此中ニ掲ゲテアリマスヤウニ、大阪其他五箇所ニ支所ヲ置キマシテ、其他ノ主要ノ都市ニハ出張所ヲ設ケル積リデアリマス、又其以外ニ於キマシテモ其需要ノ如何ヲ考ヘマシテ、適當ナ場所ニ適當ナ機關ヲ配置致シマシテ、出來得ル限り受給者ノ利便ヲ圖ルヤウニ致シタイト思テ居リマス、マダ具體的ノ問題ニ付キマシテ、如何ナル機關ヲ如何ニ利用スルカト云フコトニ付キマシテハ、御答申上ガル時期ニ達シテ居ラナイノデアリマス

○馬岡委員 サウ致シマスト、此法案ガ通過致シマシタナラバ、此恩給金庫ナルモノノ事業ヲ實施セラレルノハ何時ノ見込デアリマスカ、御尋致シタイ

○高木政府委員 其點ハ實ハ私共非常ニ心配致シテ居ルノデアリマシテ、一日モ早ク準備ニ著手致シタイト思ツテ居リマス、唯コチラノ御審議中ニハ餘リ突進ンダ準備モ出

○高木政府委員 時局ニ鑑ミマシテ、成ベク急速ニ實施スル必要ガアルト考ヘテ居リマスノデ、出來得レバ本年ノ七月一日ヨリ開始致シタイト考ヘテ居リマス

ハナカラウカト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテ御考ヲ承リタイノデアリマス

○馬岡委員 次ニ御尋致シマスノハ、此法ノ第二十五條デアリマス、二十五條ヲ見マスルト、二十五條ノ一項ガ但書デ殆ド削ラレテシマッテ居ルノデアリマス、他ノ場合ノ法律ナラバイザ知ラズ、此種ノ法律デアリマスルト、恩給金庫ヲ經營スルモノハ債權確保ノ爲ニ、又自己ノ職責ヲ完ウスル上カラニナルモノトスレバ、今少シ御準備ヲ御進メ願ハナイト、事實是ガ通過致シマシテモ、先程來ノ御答辯ヲ承ルトマダ研究スルノデアルト仰セラレルガ、ソンナコトデハサウ解セラレマス、當局ハ事實出來得ラレナイヤウニシテ、是ガ出來得ルノデアリマスカ、御尋致シマス

七月一日ニハ實施ガ出來得ラレナイヤウニシテ、如何ナル機関ヲ如何ニ利用スルカト云フコトニ付キマシテハ、御答申上ガル時ス

○高木政府委員 其點ハ實ハ私共非常ニ心配致シテ居ルノデアリマシテ、一日モ早ク準備ニ著手致シタイト思ツテ居リマス、唯コチラノ御審議中ニハ餘リ突進ンダ準備モ出

○高木政府委員 原則ト致シマシテハ、公務員ノ恩給ナリ年金ナリニ依ツテ辨濟ヲ受ケルト云フコトノ立前デアリマシテ、其效力ヲ遺族ニ及ボサシメルト云フ考ハナイノデアリマス、隨テ補償料等ニ依リマシテ、

出来得レバ其本人自身ダケデ、總テノ問題が解決スルヤウニ計畫ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

〔委員長退席坂東委員長代理著席〕

唯場合ニ依リマシテハ、例ヘバ非常ニ受

給者ノ年齢ガ高齢デアリマシテ、モウ幾許  
モナイト云フ場合ニ、貸付ヲシナケレバナ  
ラナイト云フ場合ニ、遺族ガソレニ對シ  
テ承諾ヲスルト云フコトデアリマスレバ、  
遺族ニマデ其効力ヲ及ボスベキ承諾ノ下ニ  
貸付ヲスルト云フ場合モアルダラウト考へ  
マシテ、此但書ヲ加ヘタノデアリマス

○馬岡委員 表面的ノ解釋トシテハ御尤デ  
アリマス、併シ實際ヤルモノト致シテ考へ  
マスレバ、責任上債権ヲ確保シナケレバナ  
ラヌ、スレバ法律ニ許サレテアル但書ヲ付  
ケレバ樂デアル、自己ノ職責ヲ完ウスル爲  
ニ必ズヤル仕事デナケレバナラヌト思フ  
ガ、立場ヲ變ヘテ考へマスレバ、失效ガア  
ルノダカラ何等ノ用ヲナサヌ、何處ニ目的  
ガアルカ分ラナイ、本來ノ性質カラ見ルナ  
ラバ、第一項但書ヲ削ッテシマハナケレバナ  
ラヌ、然ルニ但書ガアル爲ニ之ヲ執行スル  
トシテ、執行者ノ責任カラ考ヘルナラバ、  
但書ヲ付ケルノガ當然デアリマス、又失權  
率カラ考ヘテ、少クトモソレヲ少クショウト  
スレバ、當然付ケル筈デアリマス、斯ウナ  
ルト折角法文ガアリナガラ、第二項ノミガ  
運用サレルノデナカラウカ、是等ニ對スル  
制限方法ニ付テハ、確タル區別ヲ御付ケニ  
ナラナイト折角アル法文ガ實行ト立法ノ意

思トガ變ツテシマフ、斯ウ云フ趣旨ノ下ニ御  
尋スルノデアリマス

○高木政府委員 御尤ノコト考ヘルノデ  
マシテ、此但書ヲ加ヘタノデアリマス  
於キマシテハ、生命保險ヲ付ケテ居リマス  
ル者ガ、ソレヲ持ッテ參リマス場合ニハ其儘  
之ヲ受入レマスノデ、生命保險ガ付イテ居  
リマス場合ニハ、生命保險ノ保険金ニ依ッテ  
辨償ヲ受ケルコトガ出來マスガ、保険ヲ持ッ  
テ居ナイノハ補償料ヲ以テ辨濟シ得ルヤウ  
ニ立前ガ出來テ居リマスノデ、原則トシテ  
ハ、ソコデ打切ッテ宜シイノデハナイカト考  
ヘルノデアリマス、唯實際問題トシテドウ  
業ヲ執行致シテ行キマス機關ノ考ト云フコ  
トニモナリマセウガ、其點ハ定款其他今後  
金庫ノ設立準備委員ニ於テ、慎重ニ研究シ  
マシテ、只今ノ御話ノヤウナ問題ニ付テモ  
十分考慮ヲサレルコト考ヘテ居リマス  
○馬岡委員 大體能ク分リマシタ、サウ致  
シマスルト、今度ハ實際問題ニ付キマシテ  
モウ少シ御尋致シテ見タイト思ヒマス、此  
貸付率ヲ八九%ニナサツタノハ、モウ少シ之  
ヲ多ク貸シテモ宜イノデヤナインデスカ、殊  
ニ補償料サヘ先ニ取ツテ置ク、又二十五條第  
二項モ生キテ來ル、運用出來ルトシマスレ

以上ノ金額ノ融通ヲ受ケテ居ルコトハアル  
ノデアリマスガ、之ヲ何故八九%ニナサツタ  
カヲ承リタイ

○高木政府委員 先程モ申上ダマシタヤウ  
ニ、此金庫ノ計畫ハ、實際申シマスト、ド  
チラカト云ヘバ素人デアル、吾々ガ計畫致  
シテ居リマスノデ、成ベク安全率ヲ見テ居  
ハ、ソコデ打切ッテ宜シイノデハナイカト考  
ヘルノデアリマス、隨テ實際ニ之ヲ運用致シ  
マス場合ニ於テハ、ソレハノ方面ノ専門  
家モ入ルコトデアリマスシ、又ソレニ對シ  
テハソレハノ機関ガアリマスノデ、モット  
之ヲ有效適切ニ運用シ得ルコト考ヘテ居  
リマス

○馬岡委員 素人ノ考ダト仰セラレテシマ  
フト、ソレデ片ガ付クノデアリマスガ、假  
ニモ責任ヲ持ッテ御發表ニナツタモノニアリ  
マスカラ、重ネテ御尋シタインデス、此貸  
付金ニ對スル失權率ヲ年三分ト致シマスト、  
補償料トシテ納メルモノガ一時ニ三箇年分  
ヲ納メルト云フコトニナルノデアリマス、  
サウスルト最初ノ一年ニ三分ノ失權率ガア  
ル爲ニ三分ノ補償料ヲ納メル、年々三分ノ  
補償料ヲ一時ニ取ツテ置イテモ損失ノ計算

レテ來ルカノヤウニ思フノデアリマスガ、  
此收支計算表ヲ拜見致シマスト、サウ云フ  
風ニ計算サレテ居ナイヤウニ思フノデアリ  
マス、此點ハドウ云フ風ニナルノデアリマ  
スカ、私ガ誤解シテ居ルノデアリマセウカ、  
一遍御伺致シタイノデアリマス、年三分ノ  
失權率ガアルモノトシテ三箇年ノ貸付金ニ  
對シテ三箇年分ヲ一時ニ取ルト致シマスナ  
ラバ——取ルコトハ一時ニ取ッテモ宜シイ  
ガ、事實ニ於テ三分ノ失權ガアルモノトシ  
テ、一方ノ支出ニ於テモ年々此人員ダケハ  
見積ッテ行カナケレバナラナイヤウニ考ヘ  
ルノデアリマス、然ルニ企業目論見書ニハ  
サウ云フ風ニナツテ居ラヌカノヤウニ見受  
ケルノデアリマスガ、是ハドウ云フコトニ  
ナツテ居リマスカ

○高木政府委員 企業目論見書ニ一年一年  
トシテ計算致シテアリマスノデ、年三分ト  
云フモノヲ計上致シテアリマス、ソコデ實  
際ノ問題ト致シマシテハ、平均失權率ヲ  
取調べマシタ結果、約三分ト云フコトニナツ  
テ居リマスノデ、豫算ト致シマシテハ平均年  
三分ヲ計上致シテ居リマスケレドモ、之ヲ  
實際ニ行フ上ニ於キマシテハ、尙ホ研究ス  
ル餘地ガアルト考ヘテ居リマス、只今御話  
ノヤウニ三年分ヲ一時ニ取ツテシマフカ、或

ハソレノ原價換算ヲスルカ、或ハ毎年ソレヲ取ルカト云フヤウナ實際ノ問題ト致シマシテハ、今後設立委員其他ノ機關ニ於テ十分慎重ナ研究ヲ致シマシタ結果、之ヲ決メタイト考ヘマスガ、唯只今ノ目論見ノ上ニ於テハ計算上平均年三分ト云フコトヲ計上致シマシタ次第アリマス

○馬岡委員 左様ニ致シマスト、是ハ初年度ニ於テハ此失權率ノ損失ト云フモノガ九十七万一千圓ニナル、二年ニハ九十七万一千圓ト百一十五万六千圓ニナル、三年ニハ九十七万一千圓ト百二十五万六千圓ト百六十三万三千圓ニナル、斯ウ云フ風ニ此損率ガ出テ來ナケレバナラナイノデアリマスルガ、是ガ企業目論見書ニハ出テ居ラナイヤウニ思フ、是ハドウ云フコトニナリマスカ、十箇年分ヲ推シテ見マスト、大分此差額ガアルノデ、一寸不審ニ感ズルノデアリマス

○高木政府委員 此表ノ作り方ガ餘リ巧ミデアリマセヌノデ、非常ニ御迷惑ヲ掛ケマシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、此補償料ノ平均年三分ト申シマス中ニハ、前ニ申シマシタヤウニ一般的ノ危険率ト云フモノト、生命ニ對スル危険、此二種類ノモノヲ含ンデ居ルノデゴザイマス、只今ノ大體ノ豫想ト致シマシテハ、一般的ノ危険率、ソレヲ一分

ト見テ居リマス、其殘リガ大體生命ニ對ス  
ル危険ノ純保險料ト考ヘマスノデ、ソレヲ  
支出ノ部ノ死亡等ニ依ル損失補填金、責任  
準備繰入金、大體此二ツノ項目ニ分ケテ居  
ル譯デアリマス、而シテ初年度ニ於テハ損  
失補填金ハ比較的少イダラウト云フノデ、  
ソコニ三十一年五千圓ト云フモノヲ計上致  
シテ、次年度以降ニ於ケル損失ヲ豫想致シ  
マシテ、責任準備繰入金ニ百六十二万七千  
圓ト云フモノヲ計上致シテ居リマス、漸次  
ソレガ年次毎ニ減ツテ行クト云フ形ニ致シ  
テアリマス譯デアリマス

リマスノデ、責任準備繕入金ノ名稱ガ宜イカドウカラ分リマセヌガ、兎モ角初年次ニ入ッタ二百九十一万三千圓ト云フ補償料ノ中ノ、或ル一部ノモノヲ後年度ノ補填金ニ充テマス爲ニ、準備ノ爲ニ繰入レテ居ルト云フ考ナノデス

○馬岡委員 準備ノ爲ニ繰入レルモノトシマスナラバ、初年ハ人ガ少イノデアリマス、少イ時ニ多ク金ヲ溜メテ置イテ、人ガ殖エ、金額ガ殖エテ行ク程金ヲ減スト云フノハドウ云フ意味カラ出テ來ルノデアリマセウカ、是ハ人ガ殖エ、金ガ殖エレバ殖エル程必ズ竝進のニ進ンデ行カナケレバナラナイ責任準備金デナケレバナラヌト思フ

○高木政府委員 其點ハ初年次ノ補償料ハ二百九十一万三千圓デゴザイマスカラ、ソレニ對スル初年次ノ損失ハ比較的少イ譯ニアリマス、其殘リガ漸次年年度以降概ネ十箇年間ニ使ハレテ行クト云フ考デ是ガ來テ居ルモノデゴザイマスカラ、漸次減ツテ來テ居リマス、所ガ次年次ニナリマスト、其年次ノ補償料ガ入リマスノデ、ソレト合計シタモノガ此補償料ノ欄ニ載ツテ來ルノデアリマス、ソレデスカラ大體カラ申シマスレバ、初年次ニ於ケル補償料ノ使ヒ残リガ此處ニ掲ゲラレルト云フ風ニ御覽ヲ願ツタナラバ宜イ

○馬岡委員 斯ク考へマスト、私一例ヲ五  
年度ニ取リマセウ、五年度ハ補償料トシテ  
五百八十七万三千圓入ッテ來ルノデアリマ  
ス、年三分ハ假ニ生命保険其他ノコトニ依ツ  
テ引下グマシテモ、三箇年分一遍ニ天引サ  
レルノデアリマスカラ、三箇年分當然残ル  
ノデアリマス、今ノ御説明ノ意味カラ言フ  
ト、其三箇年分ハ當然其年ノ責任準備繰入  
金ニ入ッテ來テ、翌年度ニ支出サレル譯ニア  
リマスカラ、此金ハモット殖エテ來ナケレバ  
ナラヌ、御説明ニ依ルト當然殖エテ來ナケ  
レバナラヌノガ、減ヅテ來ルノガ不思議デ  
アル

ウハナリマセヌ

○高木政府委員 只今申シマシタヤウニ、五百八十七万三千圓ノ中生命ノ危険等ニ對スルモノハ約三百九十万圓デ、補償料ガ全部補償ト云フコトニハナラナイノデアリマス、ソレデスカラ、三百九十万圓ガ責任準備金ト損失補償金トノ合計ニナルノデアリマス

○馬岡委員 ドウモ私一寸合點ガ行キ兼ネルノデアリマスガ、是ハアトヘ残シマセウ、然ル所政府ノ御答辯ニ依リマスルト、此補償料ハ一般危險ト生命ニ對スル危險ト云フコトヲ區別サレテアリマスルガ、利子ト補償料ノ雙方合セテ考ヘレバ年九分ニナル、又利廻デアルト九分三厘弱ノ金ヲ借りリナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ、是ハ相當高イ金デアリマス、是ハモウ少シ金利ヲ下ゲテヤルコトハ出來ナイノデアリマスルカ、此點ニ付テ昨日モ松田君カラ大分御尋ガアリマシタガ、實際是ハ表面ハ非常ニ結構ニ出來テ居ル、表面ハ六分ノ金ガ借入リラレルヤウニナッテ居リナガラ、事實ハ九分三厘ノ金ヲ借りリナケレバナラヌ、是デハ受恩給者ガ相互金庫ヲ造ツタ方ガ宜イ、若シ自己ノ失權率ガ少ク、又借入金ガ安ク出來得ルナラバ、相互金庫的ノモノヲ造ツテ置イタ

ナラバ、受恩給者ノ立場ガコンナ金庫ヲ造ツ  
イノデハナイカ、サウシテソレヲ政府ガ監  
督スレバ宜イト云フコトニナル、又立替ヘ  
テ貰ツテ便利デアルカモ知レナイガ、色々  
ナ拘束ヲ受ケルノデハ却ツテ不便利ナ金ヲ  
借りナケレバナラナイコトニナル、結局受  
恩給者ニ委セテ置イタ方ガ宜カッタト云フ  
コトニ歸著スルノデハナカラウカト心配ス  
ルノデアリマスガ、此點ニ付テハ何カ御考  
ガアリマスカ

テ他ニ生命保険ヲ附ケテ、ソレヲ提供ス  
必シモ高イ金トハ考ヘラレナイ譯デゴザ  
イマス、併ナガラ危険竝ニ危険ノ代償或ヘ  
資金「コスト」等ノ關係ニ依リマシテ、出來  
レバ成ルベク安イ金ヲ貸シタイト云フコトニ  
ハ考ヘテ居リマスガ、唯計畫上ニ於テハ當  
初カラ餘リ安イ金ヲ貸スノダト云フコトニ  
致シマシテ、實際ハソレガ出來ナカッタト云  
フヤウナ不體裁ナコトガアリマセヌヤウニ、  
十分算盤ノ持テル計算ヲ致シテ居ル譯デス  
○馬岡委員 サウ云フ御答辯デアリマスト、  
方面ヲ變ヘテ此金庫ノ經營上カラ御尋ヲシ  
タイノデス、茲ニ參考資料ヲ戴イタノデア  
リマスガ、法文カラ見マスルト、定員ハ決  
メテ居ツテ決メテ居ラレヌヤウナモノデ、「以  
上」ノ字ヲ加ヘテ居ラレマスガ、此恩給金庫  
ノ役員ハ何名ノ見込デアリマセウカ

○高木政府委員 役員トシテ今豫想シテ居  
リマスモノハ、理事長一人、理事三人以上、  
監事二人以上トナツテ居リマスガ、大體理  
事ハ四五人、監事ハ三人位ト考ヘテ居リマ  
ス

○馬岡委員 昨日松田君ガ此方面デ御尋ニ  
ナリ、政府ノ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、

私ハマダ諒解出来ナカツノデアリマス、此  
借入金ノ問題デアリマスガ、最初ノ四千一  
百万圓ノ中ノ百万圓ハ、事務費ニ要ル借入  
共カラ拜見シマスト、二年度ニ十万圓アル  
ノモ事務費ノ借入金ヲシク見受ケラレルノ  
デアリマス、然ル所此參考資料ヲ頂戴致シ  
マシタガ、之ニ依ルト此金利ハヤハリ事務  
費デハナクテ、此恩給金庫ノ所謂融通資金  
トシテノ利子カラ支出サレテ居ルヤウニ見  
受ケルノデアリマス、ソレカラ此雜費ノ中  
ノ「其他」ニハ此金利ハ含レテ居リマセヌ、  
尙ホモウツ年次ヲ調べテ見マスルト、二  
年以後十年マデハ全部繰越金ノ名義ノ下ニ、  
所謂支拂保證ト言ヒマスカ、貸付保證ト言  
ヒマスカ、手持金ハ常ニ借入金ヨリ多イノ  
デアリマス、是デハ要ラヌ金ヲ借りテ置イ  
テ、オ客サンヲ待ツ形ニナル、一年以上不  
要ノ金ノ金利ヲ支拂フコトニナルダラウト  
思ヒマスガ、是デハ非常ニ能率ノ擧ラヌ事  
業成績デハナカラウカ、之ヲ具體的ニ申上  
ゲマスト、第三年ノ當初ニ於テハ二千五  
三万一千圓ノ現金ヲ持ツテ居ル筈デアリマ  
ス、又此外ニ責任準備金ヲ持ツテ居ル筈デア  
リマス、責任準備金ハ年々累加サレテ行ク  
デアラウト思ヒマスカラ、此金額モ殖エテ

サウシマスト、此目論見書カラ見マスナラバ、第三年度ノ當初ニ於テハ、少クトモ二千五百万圓ニ近イ現金ヲ以テ掛ルノデアリマス、サウシテ其年ノ新規ノ貸付ハ五千四百萬圓デアリマスガ、是ハ四月一日ニ半額貸付ケマシテモ、モウ少シ借入金ノ利息ガ減ツテ來ルベキ筈デナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、又其中ニ次々ニ償還サレテ來ル金モアルノデアリマス、ソレカラ考ヘルト常ニ是ハ上手ニ御經營ニナレバ、斯ウ云フ金ガ餘ラズニヤッテ行ケルシ、又之ヲモウ少シ多ク貸付ケテモヤッテ行ケルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレマス、此目論見書ノ上カラ見マスト、ドウモ事務費ノ借入金ニ付テ一般ノ事業資金ノ利息デ支拂ツテ見タリ、又常ニ遊金ヲ多ク持過ギテ見タリ、或ハ報酬トシテハ大臣以上ノ高イ報酬ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フコトハ、ドウモ不思議ニ考ヘルノデアリマス、假ニ斯ウ云フ目論見デナク、受恩給者自身が相互保険ノ形ニ於テ之ヲ考ヘマスナラバモウ少シ安イ金ガ借リラレ、又皆が能ク理解シ得ラレ、自己ノ金庫トシテ、自己ノ保

要ラナクナリ、又一般ノ金ヲ借りナイ人モ  
所謂相互保険ノ意味ニ於テ之ニ加入サセル  
一步進ンデ今日ノ社會情勢カラ考ヘテ此恩  
給金庫ヲ設ケテ、之ニ依ツテ金ヲ貸付ケナケ  
レバナラヌト云フコトハ、私モ同意スルガ、  
此企業方法ヲ御變ヘニナツタ方ガ、ウント效  
果ガ擧ガルノデハナイカ、斯ウ云フ高イ月  
給ヲ拂ッテ、殆ド事業費ダケモ儲ラナイコト  
ヲスルヨリモ、モウ少シ有利ナ效果的ナ現代  
世相ニ合フモノガアリハセヌカ、或ハ生命保険  
會社カラ反對ガ出ルカモ知レマセヌガ、ソレハ  
政府ガ簡易保険ヲオヤリニナツテ居ルノト同ジ  
デアル、ソレデ受給者自身ノ相互機關ニシ  
タ方ガ宜イ、サウスレバ利廻モ安クナル、  
年三分ノ補償モアルカラ、其率ダケデ出来  
ルノデハナイカ、又一般ノ借入レナイ者  
モ、生命保険ニ高イモノヲ拂フヨリモ、之  
ニ相互保険ヲ掛ケルノデハナイカ、ダカラ  
モウ少シ之ヲ積極的ニ御變ヘニナツタ方ガ  
利益デハナイカ、斯ルコトヲ申上ゲルト失  
禮カモ知レマセヌガ、ドウモ政府ノ御考ハ  
手温イ、春ノ日ニ庇ヲ掛ケタヤウニ呑氣ニ  
御考ヘニナツテ居ルノデハナカラウカ、實際  
カラ見テ是デハ成績ガ上ラヌシ、社會情勢

實際政府ガ默認シテ居ルヤウニ之ヲ續ケナ  
ケレバナラヌコトハ一般ガ之ヲ認メテ居ル  
ノデハナカラウカト思フ、ソレデ此金ヲ借  
入レナイデヤルダケノ計畫ヲ立テルナラ  
バ、借入金ノ利息ヲ拂フコトモ要ラヌノデ  
アリマス、所謂恩給金庫ヲ貸付ダケノ金庫  
ニシナイデ、相互保険ノ金庫ニスルナラ  
バ、ヨリ以上利益デハナイカ、生命保険ヲ  
掛ケテ居ル其中カラ金ヲ借リルナラバ、左  
程ノ資金ヲ持タナクトモ出來ル問題デア  
ル、サウスレバ一時ハ兎ニ角、將來ニハ借  
入金ナクシテ立派ニ運用シテ行ケル、此目  
論見書カラ見ルト、斯ウ云フ不經濟ナ人件  
費ヲ使ハナイデモ出來得ルノデハナイカト  
思フノデアリマス、即チ貸付金ノ總金額ニ  
對スル約三分ノ事務費ヲ持タナケレバナラ  
スト云フヤウナ運營デハ、六分ノ金ヲ借ス  
ト致シマシテモ半分ガ人件費ニ取ラレテシ  
マフヤウデハ、貸付金ノ利息ガ下ッテ來ル  
氣遣ヒハナイ、今少シ是ハ御考ニナラナ  
ケレバナラナイノデハナカラウカ、又初年  
度ニハ是ダケデ行クガ、翌年度カラハ比較  
居リマスルガ、必ズ之ヲ此規模デ、實際怨  
嗟ノ聲モ聞カナイデ、皆ガ便利ニ金ガ借リ

得ラレル迄之ヲ擴ガルトシマスルナラバ、必ズ事務費ガ上ツテ來ル、所謂郵便局ノ窓口デ之ヲ支拂フトシマシテ、手數料ヲ郵便局ニ支給スルトシテモ、此金ハ相當掛ル、隨分是ハ人件費ガ要リ過ギルコトニナル、單ニ是ハ貸スタケノコトヲヤルカラ人件費ガ要リ過ギルガ、同時ニ是ハ相互保險ノ方法ヲ取ッテヤルナラバ、此人件費ハ倍額ノ働きヲスル、ソレノ方ガモット良クハナカラウカ、コンナコトヲナサルナラバ、現在軍人後援會デオヤリニナリ、產業組合方面デ爲サシメテ居ルモノニ今少シ助成ヲシテ、政府ガ儘デ樂ニ出來ハセヌカ、却テ複數經營ノ方ガ便利デナイカ、又是ハ單數經營デシナケレバナラスト考ヘマスルナラバ、相互保險、相互金庫ノ貸付ニ依ツテ收支ノ途ヲヤラナケレバ、貸付會社ダケデハ——他ノ副作用モ色々ナサルト仰シヤッテ居ラレマスガ、相互保險ノ目的デ第一カラ出發ナサレルノカ、サウデナケレバ副作用ガ左程多ク働カナイト思ヒマス、唯眞ニ裕福ナ人ノ恩給金ヲ受取ルダケノ御世話ヲスルニ過ギヌヤウナ狀態ニナリハセヌカ、金庫本來ノ目的カラ考ヘルナラバ、是ニハ受恩給者全部

デ事足ル、ソレデ貸付モ爲シ得ラレル、保  
險率モ下リ、又他ノ借入金ノ利息モ無シ  
ニ、自己ガ自己ノ責任デヤッテ行ケルコト  
ニナラナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマ  
ス、複數ニスルナラバ、産業組合ナドノ方  
面ニ御任セニナツタ方ガ事實成績ガ上ル、又  
同ジ政府當局デモ、色々ノ御意見ヲ持タレ  
ルノデ、實際困ルト云フ實例ヲ一つ申上ゲ  
マスルナラバ、産業組合法ノ農林省ノ御監  
督下デハ、正式デハアリマセヌガ、非公式  
デ産業組合ニ恩給貸付ヲ獎勵シテ居ル、又ソ  
レデ成績ガ上ツテ居ル産業組合ガ市街地ニハ  
相當アルノデアリマス、以前ハ疲弊ノ極ニ達シ  
テ居ツタ産業組合ガ、恩給貸付ヲシテ其筋カ  
ラ獎勵ヲ受ケテ、默認サレテ、ドシ～ヤッ  
タ結果成績ヲ上ゲタ、是レ位固イ貸付ハナ  
イカラ成績ヲ上ゲタ、之ヲモウ少シ進ンデ  
御獎勵ニナルカ、サモナケレバ單數經營ヲ  
ナサルナラバ、生命相互保險ノ方法ニ依ッテ  
自ラ生命保險ヲ掛ケ、自ラ借金モスレバ預  
金モスルト云フ方法ニオヤリニナツタ金庫  
ノ成績ノ方ガ良クハナイカ、此點ニ付テ御  
所見ガアルナラ承リタイ、此様式デナケレ  
バナラナイト云フコトデアレバ、其御意見  
ヲ承リタイ

## ○高木政府委員 前段ノ方ノ繰越金ノ問題

デアリマスガ、是ハ昨日モ御質問ガアリマ  
シテ、實ハ私共モ昨年ノ案其儘ヲ踏襲致シ  
マシテ、少シ餘裕ガアリ過ギルヤウニ考ヘ  
ルノデアリマス、併ナガラ此年金恩給擔保  
ト云フモノハナイノデアリマシテ、バラ～  
ト云フモノハナイカト云フ風ニ考ヘルノデア  
リマス、ソレカラ經費ガ高クハナイカト云  
フ準備シテ置カナケレバナリマセヌノト、  
モウ一つハ支給期ノ關係デ、一年ニ現在デ  
ハ四回或ハ二回ト云フ風ナ式ニ給與金ヲ受  
領致シマスノデ、償還ノ方ハ一時ニ金ガドッ  
ト入ツテ來ルコトニナリマシテ、一般ノ金融  
ノヤウニ隙間ナシニ其金ヲ貸シテ居ルト云  
フヤウナコトハ一寸不可能ナノデアリマス、  
ノ本質ヲ諒解シ、又年金恩給ノ本質ト云フ  
イカト云フ風ニ私共考ヘテ居ル、能ク金庫  
ノモナラ諒解シ、又受恩給者ノ立場ト云フ  
ウナコトモ十分諒解シ、且又成ベク安イ資  
金ヲ持ツテ來ナケレバ安ク金ヲ貸スコトが出  
来マセヌノデ、サウ云フ方面ニ對スル十分  
ナ力ノアル人ヲ持ツテ來ルト云フコトニナリ  
マスト、此金庫ノ役員ハ他ノ職務ヲ併セ持  
ツコトガ出來マセヌノデ、相當ノ報酬ヲ出  
サナケレバ相當ノ人ガ來ナイ、來ナイ結果  
ハ金庫ノ運用ガ巧ク行カナイト云フコトニ  
ナル虞ガアル、サウ云フ點カラ考ヘマスト、  
ヘルヨリモ、其人ニ立派ナ人ヲ持ツテ來ルト  
云フ方ガ、私共ハ宜イノデヤナイカト云フ  
ヤウニ、回収金ノ方ハ或ル一定ノ時期ニドッ

ト入ルノデアリマスカラ、ソレヲ直チニ廻  
シテ、ソコニドウシテモ無駄ナ金ガ出テ來  
ク運營シテ行クト云フ上ニ於テ必要ナコト  
ニヤナカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、  
更ニ産業組合其他ノ既設ノ機關ニ委セタラ  
ドモ、是ハ現在色々ナ弊害ガアリマスノデ、  
實ハ今回倉庫ヲ持ヘヨウト云フコトニナツタ  
ノデアリマシテ、金融業者ガ恩給金庫ノ設  
立ニ對シテ色々反對スルト云フコトモ、恩  
給年金ヲ擔保トスル金融ガ非常ニ有利ダト  
ノデアリマシテ、金融業者ガ恩給金庫ノ設  
立ニ對シテ色々反對スルト云フコトモ、恩  
給年金ヲ擔保トスル金融ガ非常ニ有利ダト  
ドモ、此金庫ノ性質カラ考ヘマシテ、之  
前ニモ申上ゲタ存ズルノデゴザイマスケ  
レドモ、此金庫ノ性質カラ考ヘマシテ、之  
ヲ運用スル人ノ如何ニ依ツテ金庫ノ成功ス  
ルカシナイカト云フコトガ決スルノデヤナ  
イカト云フ風ニ私共考ヘテ居ル、能ク金庫  
ノモナラ諒解シ、又受恩給者ノ立場ト云フ  
ウナコトモ十分諒解シ、且又成ベク安イ資  
金ヲ持ツテ來ナケレバ安ク金ヲ貸スコトが出  
来マセヌノデ、サウ云フ方面ニ對スル十分  
ナ力ノアル人ヲ持ツテ來ルト云フコトニナリ  
マスト、此金庫ノ役員ハ他ノ職務ヲ併セ持  
ツコトガ出來マセヌノデ、相當ノ報酬ヲ出  
サナケレバ相當ノ人ガ來ナイ、來ナイ結果  
ハ金庫ノ運用ガ巧ク行カナイト云フコトニ  
ナル虞ガアル、サウ云フ點カラ考ヘマスト、  
ヘルヨリモ、其人ニ立派ナ人ヲ持ツテ來ルト  
云フ方ガ、私共ハ宜イノデヤナイカト云フ  
ヤウニ、回収金ノ方ハ或ル一定ノ時期ニドッ

ト入ルノデアリマスカラ、ソレヲ直チニ廻  
シテ、ソコニドウシテモ無駄ナ金ガ出テ來  
ク運營シテ行クト云フ上ニ於テ必要ナコト  
ニヤナカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、  
更ニ産業組合其他ノ既設ノ機關ニ委セタラ  
ドモ、是ハ現在色々ナ弊害ガアリマスノデ、  
實ハ今回倉庫ヲ持ヘヨウト云フコトニナツタ  
ノデアリマシテ、金融業者ガ恩給金庫ノ設  
立ニ對シテ色々反對スルト云フコトモ、恩  
給年金ヲ擔保トスル金融ガ非常ニ有利ダト  
ドモ、此金庫ノ性質カラ考ヘマシテ、之  
前ニモ申上ゲタ存ズルノデゴザイマスケ  
レドモ、此金庫ノ性質カラ考ヘマシテ、之  
ヲ運用スル人ノ如何ニ依ツテ金庫ノ成功ス  
ルカシナイカト云フコトガ決スルノデヤナ  
イカト云フ風ニ私共考ヘテ居ル、能ク金庫  
ノモナラ諒解シ、又受恩給者ノ立場ト云フ  
ウナコトモ十分諒解シ、且又成ベク安イ資  
金ヲ持ツテ來ナケレバ安ク金ヲ貸スコトが出  
来マセヌノデ、サウ云フ方面ニ對スル十分  
ナ力ノアル人ヲ持ツテ來ルト云フコトニナリ  
マスト、此金庫ノ役員ハ他ノ職務ヲ併セ持  
ツコトガ出來マセヌノデ、相當ノ報酬ヲ出  
サナケレバ相當ノ人ガ來ナイ、來ナイ結果  
ハ金庫ノ運用ガ巧ク行カナイト云フコトニ  
ナル虞ガアル、サウ云フ點カラ考ヘマスト、  
ヘルヨリモ、其人ニ立派ナ人ヲ持ツテ來ルト  
云フ方ガ、私共ハ宜イノデヤナイカト云フ  
ヤウニ、回収金ノ方ハ或ル一定ノ時期ニドッ

ラ産業組合本來ノ性質カラ考ヘマシテ、産業組合其モノカラ言ヘバ、モット地方ノ産業開發ニ努ムベキダト思フ、積極的ニヤルベキ資金ヲ消極的ニ流スト云フコトハ、産業組合本來ノ性質ニ反スルノデハナイカ、今ノ所デハ他ニ制度ガ無イノデ、已ムヲ得ズサウ云フ風ナコトヲ默認サレテ居リマセウガ、是ガ若シ恩給金庫ガ出來ルナラバ、サウ云フ方面ハ皆金庫ニ委セテ、産業組合ハ本來ノ自己ノ眞面目ニ立歸ルベキダラウト私共考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ受恩給者ノ相互生命保険ニ依ツタラ宜イダラウト云フ御意見デアリマスガ、之ニ對シマシテハ私共ノ只今マデ専門家アタリト話合ヒマシタ計算ニ依リマスト、到底保険料ノ關係ガ立行クモノデナインデゴザイマス、只今補償料ノ關係カラ言ヒマシテモ、金庫ノ豫想シテ居リマス平均二分ノ補償料ニ依ツテ、辛ウジテ純保険料ガ算出し得ルト云フノガ、只今ノ専門家ノ意見ナノデゴザイマスカラ、ソレ以上尙ほ餘裕ガアル運營ヲ其相互生命保険ニ依ツテヤツテ行カルコトデ、言フベクシテ行ハレルコトデハナリ、又生命保険ヲ相互ニヤルト致シマシテ

モ、ソレニ依テ多少テモ利益ヲ得ルト云  
ヤウナ考ガアルトシマスレバ、弱體者、或  
ハ老年者、サウ云フ者ハ取ラナイト云フ結  
果ニナリマシテ、是亦先程申上ゲマシタ年  
金恩給ヲ擔保トスル金融ノ目的ニ合致シナ  
イコトニナルト考ヘマス、ソレガ爲ニハヤ  
ハリ特殊ノ機關ヲ作リマシテ、其特殊ノ機  
關ガ利益ナモノモ、不利益ナモノモ一括シ  
テ、統一的ニ經營スルト云フ所ニ、初メテ  
運用ガ圓滑ニ行ハレテ行クノデハナイカ、  
是ガ此恩給金庫ヲ特ニ設ケヨウト云フコト  
ニナリマシタ趣旨デゴザイマス

○馬岡委員 大體分リマシタ、併シ恩給金  
庫ノ二分ノ補償料デハ相互生命保險ハ出來  
ルモノデナイト云フ其問題ニ付キマシテ  
ハ、私ハ政府當局ト見解ヲ異ニスルノデア  
リマスガ、併シ此上幾ラ御尋シテモ、水掛  
論ニナリマスカラ此程度ニ止メテ、私ノ質  
問ヲ打切マス

○坂東委員長代理 チヨット御諮詢致シマス  
ガ、午後ハ政府委員ノ都合テ少シ遅ラシテ  
貴ヒタイト云フ申出ガアリマシタガ、如何  
致シマセウカ

〔「一時半頃カラ再開シテハ如何デセ  
ウ」ト呼フ者アリ〕

○前田委員長 前會ニ引續キ會議ヲ開キマス  
午後一時五十分開議

○坂東委員 以下數項ニ付キマシテ、政府ノ御答辯ヲ要求致シマス、恩給金庫ヲ設立シ、恩給受給者及ビ年金受給者竝ニ扶助料受給者ニ金融ヲ爲スコトハ、恩給擔保禁止ト云フ原則ニ對シテ、恩給金庫ノ爲メ例外ヲ認メントスル精神デアルト云フコトハ、去ル二月十五日船田政府委員ノ該法案説明中ニ於テ述ベラレテアルノデアリマス、然ラバ御尋致シマスガ、一體恩給禁止ノ原則ト云フコトハ、如何ナル原理カラ來テ居ルノデアリマスカ

○高木政府委員 恩給年金ニ付キマシテ、擔保ヲ禁止致シテ居リマス、是ハ元來ガ恩給ナリ年金ナリハ、國家ニ功績ノアリマシタ者ニ對シマシテ、終身其生活ヲ保持セシムル生活ノ權利ヲ與ヘルト云フコトガ、本來ノ目的デアリマス、恩給ニシマシテモ、年金ニ致シマシテモ、其制定ノ當初ニ於キ

シテ、ソレガ爲ニ生計ガ苦シクナリ或ハ甚シキニ至ッテハ、ソレガ爲ニ犯罪ヲ構成スルト云フヤウナコトガアリマスコトハ、年金恩給受給者ノ品位ノ上カラ考ヘマシテモ望マシキコトデハナイノデアリマス、仍テ恩給法ニ於キマシテハ、年金恩給ノ擔保禁止ノ規定ヲ置イテ居リマスガ、此禁止ノ規定ノ有無ニ拘ラズ、理論上カラモ、禁止ヲサルベキモノデアリマシテ、一身專屬ノ権利デアリマス、禁止ノ規定ガ有ル無シニ拘ラズ、之ヲ擔保ニ供スルコトハ出來ナイ譯デアリマス、サウ云フ意味カラ申セバ、恩給法ニ於テ、擔保禁止ノ規定ヲ置クト云フコトハ謂ハシ注意的規定トモ解釋スペキモノト考ヘテ居リマス

方面カラ申シマスナラバ、之ヲ刻ンデ與ヘルト云フコトハ、刻ンデ與ヘル度毎ニサウ云フ意味ノコトヲ樋貝前恩給局長ハ屢々述べラレテ居ルノデアリマス、サウシマスナラバ、之ヲ擔保ニ供スルト云フコトハ單ニ私法上一般ニ禁止スルノミナラズ、擔保ニ供スル法律ヲ作ルト云フコトハ、即チ明治大帝陛下ノ御聖旨ニ背クヤウナ嫌ヒガアル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ突進ンダ徹底シタル御意見ヲ拜聽シタイ

○高木政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ

年金恩給ノ本旨カラ考ヘマシテ、之ヲ擔保

トシテ金融スルト云フヤウナコトハ望マシ

カラザルコトデアルノデアリマス、併ナガ

ラ實際ノ狀況カラ考ヘマスル場合ニ、十分

ナ生活ノ餘裕ヲ持ッテ居リマセヌ、年金恩給

受給者ト致シマシテハ、已ムヲ得ズ之ヲ擔

保トシテ金ヲ借りテ居ルト云フコトハ、事

實ノ問題トシテ現實ノ狀態デアルノデアリ

モ、無論サウ云フ風ニ御考ニナツテ居ツカ

トト考ヘルノデアリマスケレドモ、ヤハリ

時勢ノ變化ニ從ヒマシテ、實際ノ必要ニ應

ジタ適當ナ救濟ノ手段ヲ講ズルト云フコト

モ、是ハ必ズシモ 陛下ノ思召ニ反スルモノト云フコトハ考ヘナイノデアリマス、私共ノ考ヘ陛下ノ有難サヲ泌ニト痛感スルモノデアル、サウ云フ意味ノコトヲ樋貝前恩給局長ハ屢々述べラレテ居ルノデアリマス、サウシマスナラバ、之ヲ擔保ニ供スルト云フコトハ單ニ私法上一般ニ禁止スルノミナラズ、擔保ニ供スル法律ヲ作ルト云フコトハ、即チ明治大帝陛下ノ御聖旨ニ背クヤウナ嫌ヒガアル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ突進ンダ徹底シタル御意見ヲ拜聽シタイ

○高木政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ

年金恩給ノ本旨カラ考ヘマシテ、之ヲ擔保

トシテ金融スルト云フヤウナコトハ望マシ

カラザルコトデアルノデアリマス、併ナガ

ラ實際ノ狀況カラ考ヘマスル場合ニ、十分

ナ生活ノ餘裕ヲ持ッテ居リマセヌ、年金恩給

受給者ト致シマシテハ、已ムヲ得ズ之ヲ擔

保トシテ金ヲ借りテ居ルト云フコトハ、事

實ノ問題トシテ現實ノ狀態デアルノデアリ

モ、無論サウ云フ風ニ御考ニナツテ居ツカ

トト考ヘルノデアリマスケレドモ、ヤハリ

時勢ノ變化ニ從ヒマシテ、實際ノ必要ニ應

ジタ適當ナ救濟ノ手段ヲ講ズルト云フコト

モ、是ハ必ズシモ 陛下ノ思召ニ反スルモノト云フコトガ、寧ロ 陛下ノ思召ニ副フ所以デアル考ヘルノデアリマシテ、法律ヲ以テ恩給金庫ヲ作ルト云フコトハ、何等 明治天皇ノ思召ニ反スルモノトハ考ヘテ居リマセス、寧ロ思召ニ副フ所以ダト考ヘテ居リマセス

○坂東委員 政府委員ガ提出ノ理由ノ中ニ

於キマシテ、全ク是ハ例外デアル、例外デ

アルト云フ意味ハ、擔保ニ供スルト云フコトハソレハ 明治天皇ノ御思召ニ反スルカラ

例外デアルト云フコトヲ強調サレテ居ル、故ニ救濟スルコト、要約スレバ其四ソトナ

者及ビ廢疾者ノ爲メ現在救濟ノ途杜絶セル

ト云フヤウナコトハ實ハ調ベタコトハゴザ

ラ知ルコトガ出來ナイト云フコト、第三ハ

是等ノ弊害アルガ故ニ恩給金庫ヲ設ケテ恩

給受給者ノ生活安定ヲ圖ルコト、第四老幼

セラレテ、其負債完了後ニ於テモ其所在ス

ラ知ルコトガ出來ナイト云フコト、第三ハ

○坂東委員 私ガ斯ウ申上ゲマスルノハ、

恩給ヲ擔保ニスルコトハ禁止シテ居リマス

ガ、併ナガラ「ブローカー」トシテ擔保ニ供

スベカラザルモノヲ世話シテ、手數料ヲ取

ルト云フコトハ如何様ニモ禁止スルノ途ガ

アルノデアリマス、ソレ故ニ御尋スルノデ

アリマスガ、政府ノ調査ガナケレバ是ハ杜

撰ナルモノデアルト云フコトヲ茲ニ斷言シ

テ置キマス、ソコデ政府——ト申シマシテ

モ大藏省デアリマスガ、大藏省側ノ認定ニ

依リマスルト、恩給金融業者ノ金利ヲ一年

一割五分ト認定シテ居ル、一割五分ニ依ツテ

トハ、多少違フ點ガアルト思フ、隨テ適當ナ機會ニ於キマシテ樋貝君ノ出席ヲキ求メテ、御二人ノ意見ヲ竝ベテ拜聽シタイト思ヒマス、又之ニ關スル所ノ御意見ハ單ニ御

二人ノミナラズ、恩給局ヲ直轄スル所ノ近

衛首相ノ御意見ヲモ拜聽シタイト思ヒマス、此點ハ是デ打切ツテ置キマス

其次ニハ恩給金庫法案提出ノ根本理由ヲ

アル考ヘルノデアリマシテ、法律ヲ以テ恩給

金庫ヲ作ルト云フコトハ、何等 明治天皇ノ

依リ之ヲ要約シテ申上ゲマスナラバ、結局

ハ第一ハ周給受領者ガ高利ヲ拂ツテ金融ヲ

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ケル小サイ金融業者ガ、自己ノ手ニ收メマ

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行クト云フヤウナ事例ガ多イヤウニ

思フノデアリマス、之ヲ「ブローカー」ト言

フナラバ或ハサウカト思ハレルノデスガ、其

ガ大體如何ナル割合ニナツテ居ル カト云フ

コトヲ先づ御伺致シタイ

○高木政府委員 「ブローカー」ト金融業者

トノ間ニ如何程ノ手數料ヲ取ツテ居ル カト

云フヤウナコトハ、實ハ調べタコトハナイ

ノデアリマス、大體ニ於キマシテ地方ニ於

シタ恩給證書ヲ他ノ大キナ金融業者ノ所ニ

持ツテ行

稅金ヲ課シテ居ルト云フコトヲ茲ニ申上げ  
ル、隨テ苟モ斯様ナ法案ヲ出シマスナラバ、  
業者ノ關係ヲ明ニシナケレバナリマセヌ、  
詰リ金融業者ノ金利モ又「ブローカー」ノ手  
數料モ、又其中デ惡德ナル「ブローカー」ノ  
手數料モ全部ヒックメテ高利貸カラ救フト、  
云フヤウナコトハ、餘リニ杜撰デハナイカ  
ト考ヘマス、故ニ政府ハ此點ニ付キマシテ  
調査甚ダ杜撰デアルト云フコトヲ茲ニ斷言  
致シマス

其次ハ恩給金融ヲ受ケテ居リ、其負債完  
了スル迄恩給證書ガ轉々トシテ其所在ガ不  
明ノ場合ガアル、斯ウ政府ハ申シテ居ルノ  
デアリマスガ、即チ二月十七日ノ委員會ニ  
リマスレバ、恩給證書ガ行先ガ轉々トシテ  
分ラヌモノガアルカラ再交付スルノデアル  
ト云フコトニナル、併シ恩給證書再交付ヲ  
申請スルニハ、恩給證書ノ行先處理ノ爲メ  
債權者ニ催告ヲ内容證明郵便ニテ送達致シ  
テ居リマスカラ、行先不明ニナルト云フコ  
トハナイノデアリマス、又貯金局ヲ調べマ  
スレバ、大部分ハ誰ガ何月何日代理デ受取  
タカ住所氏名モ判明シテ居ル、隨テ恩給證  
書ノ所在ハ何處ニアルカト云フコトハ明カ  
ニ分ル筈ナンデアリマス、又政府委員ハ豫

メ三四四年分ノ恩給金融ヲ受ケテ三十年モ證  
書ガ歸ラヌ、行先不明デアルト申シマスガ、  
今申シマシタ如ク、全ク左様ナコトハアル  
ベキコトデナイ、是ハ先刻申上ゲタ通リデ  
アリマス、是ハ本法ノ必要ヲ故意ニ誇張ス  
ル言デアルト思ヒマス、三十年ハ以テノ外  
デス、曩ニ大正十二年ヲ以テ恩給證書ハ書  
換ヲサレテ居ル、故ニソレカラ先キ行先不  
明ニナツテ居ルト致シマシテモ十六年ニシ  
カ過ギヌノデアリマス、此點ニ關シマシテ  
御伺致シマス

○高木政府委員 坂東サンノ御調ハ大變詳  
シヤウデアリマスガ、其點ニ付キマシテ  
ヤナイカト考ヘテ居リマス、現ニ私共ノ方  
ニ再度證書ヲ請求シテ居リマス其請求者カ  
ラ申出ニ依リマシテモ、三十年モ歸ッテ居ラ  
ナイト云フ實例ガアルノデアリマス、ソレ  
デアリマスカラ、三十年歸ラナイ、ソレデア  
モアルノデアリマス、是モ亦實際ノ例ヲ以  
テ幾ラデモ御示シスルコトガ出來ルノデア  
リマス

○坂東委員 然ラバ其數字ヲ只今御判リニ  
人ニ成ベク證書ノ渡ルコトヲ希望致シマシ  
テ、居住地警察署長ノ居住證明ヲ取リマシ  
テ、本人ニ交付スルヤウナ手續ヲ執ッタ、而  
モ本人ガ受取ラナイデ、其間ニ高利貸ガ本  
人ヲ偽裝シテ更正證書ヲ取ッタ云フ顯著  
ナルモノガアルノデアリマス、只今私ガ申  
シマシタノハ其例デアルト考ヘマス、是等  
ノ惡德ノ金融業者ト云フノハ枚舉ニ違ガナ  
イノデアリマシテ、私共ノ扱ッテ居リマス實  
際ノ例ニ於テ幾ラデモ其實例ヲ御目ニ懸ケ  
ルコトガ出來ルト思ヒマス、ソレカラ證書  
ガ轉々トシテ所在ガ判ラナイト云フコトハ  
ナイデヤナカト云フ御話デアリマスガ、  
成程各支給期ニ於テ何處ノ某ガ取ッタト云  
フコトハ貯金局ヲ調ベレバ判ルノデアリマ  
ス、併シ實際問題トシテソレデハ此證書ノ  
返還ヲ求メテ來タ場合ニ、相手ノ高利貸ガ  
手許ニナイト言ッタ場合ニハ、ソレヲ求メテ  
行ク方法ハナイノデアリマス、ソレデア  
リマスカラ民事ノ訴訟ニ依リマシテ勝訴ニ  
ナツテ、執行シテ見タ所ガ證書ガ本人ノ手許  
ニナイ、執行ガ不能ニナツタ云フ例ハ幾ラ  
ナイト云フ實例ガアルノデアリマス、ソレ  
デアリマスカラ、三十年歸ラナイ、ソレデア  
モアルノデアリマス、是モ亦實際ノ例ヲ以  
テ幾ラデモ御示シスルコトガ出來ルノデア  
リマス

○坂東委員 然ラバ其數字ヲ只今御判リニ  
ナリマスレバ拜聽シマスシ、判ラナケレバ  
参考資料トシテ提出サレンコトヲ希望致シ  
マス

次ハ資金ノ點ヲ申上ゲマス、此程來ノ同  
僚委員ニ對スル御答辯ニ依リマスト、資金  
ハ大體ニ於テ見當ガ著イテ居ルト云フ御答  
辯ガアツクノデアリマスガ、私ハ政府委員ノ  
答辯中、或ハ宮内省關係モ話モ付イタト云  
ハレルコトハ多少不謹慎デヤナカラウカト  
シマス、ソコデ資金ト申シマシテモ大體今  
申シマシタヤウナ方面及ビ官業共濟組合ト  
云フ方面モアリマセウガ、債券ヲ發行スル  
場合ニハ、何ト申シマシテモ、ヤハリ預金  
部ノ方ニ重キヲ置クモノト思ヒマス、又  
共濟組合ト申シマシテモ其共濟組合ノ預金  
ハ現金デ持ッテ居ラナイ、或ハ大キナ銀行ニ  
アル、大銀行デハ民間其他ノ色々ノ資金ニ  
貸出等ラシテ居ル、隨テソレダケ資金ガ減  
ルト云フコトハ爭フコトガ出來ナイ、故ニ  
資金ヲ得ルト云フコトニ於キマシテモ、恩給  
金庫ニ資金ヲ徵收サレタ結果、日本ノ經濟  
界、金融界ニドウ云フ影響ヲ起スデアラウ  
カ、或ハ軍事公債ニドウ云フ影響ガ生ズル  
ダラウカト云フコトモ研究シ考察シナケレ  
バナラヌト思ヒマス、ソコデ預金部ノ狀況ヲ  
見マスト郵便及振替貯金ガ三十五億數千万  
圓、ソレカラ復興貯蓄債券收入金ノ預金ガ  
七千四百餘万圓、各特別會計其他預金ガ五  
億三千七百餘万圓、預金部ノ積立金ガ五億  
四千八百餘万圓、預金部ノ收入金ガ一億四

千六百餘万圓、合計ガ四十九億九百餘万圓トナツテ居ルノデス、ソコデ借方ノ方ヲ見マスト、ヤハリ同數字ノ四十九億九百餘万圓デアリマスガ、其中預金トシテハ一億一千二百餘万圓シカナイ、ソコデ其年度内ノ、例ヘバ貸金ノ中カラ入ッテ來マスノガアリマス、其全部ノ流動資金ハドウ云フ風ニ運用セラレテ居ルカラト見マスト、國債ニ對シテ四億五千万圓ヲ買入レテ居ル、而シテ産業組合カラ借入申込金額ハ二千九百五十八万八千百四十四圓、之ニ對シテ融通決定額ガ僅カ四百七十万九千百圓シカ融通シテ居ラナイ、又市町村ノ普通事業資金ノ借入申込金額ハ一億七千二百二十九万四千三百三十丸圓、之ニ對シテ僅カニ三千六百三十二万以テシマスルナラバ、預金部ニ於テ今後益、公債ノ買入ヲシナケレバナラヌ、而シテ産業組合竝ニ市町村方面ノ借入申込ハ段々殖エルバカリデス、若シモ此恩給金庫ノ方ニ多額ノ資金ヲ取ラレマスナラバ、國債ノ借入ニモ支障ヲ來シ、又産業組合ノ借入、市町村ノ借入ニ非常ナ支障ヲ來ス處ガ多分ニアルト思ヒマス、之ヲ以テ考ヘルナラバ、恩給金庫ガ預金部ノ方カラ金ヲ借リルト云フコトハ困難ナ事情ニアルノデハナカラウ

カ、況ヤ又一般ノ金融界ハ申ス迄モナク、段々ト事變ノ擴大ニ從ツテ民間ニ於キマシテモ相當ニ公債ヲ引受ケナケレバナラヌ、又國民ハ増稅ニ依ツテ非常ニ困難ヲ來シマス、其全部ノ流動資金ハドウ云フ風ニ運用セラレテ居ルカラト見マスト、國債ニ對シテ四億五千万圓ヲ買入レテ居ル、而シテ産業組合カラ借入申込金額ハ二千九百五十八万八千百四十四圓、之ニ對シテ融通決定額ガ僅カ四百七十万九千百圓シカ融通シテ居ラナイ、又市町村ノ普通事業資金ノ借入申込金額ハ一億七千二百二十九万四千三百三十丸圓、之ニ對シテ僅カニ三千六百三十二万以テシマスルナラバ、預金部ニ於テ今後益、公債ノ買入ヲシナケレバナラヌ、而シテ産業組合竝ニ市町村方面ノ借入申込ハ段々殖エルバカリデス、若シモ此恩給金庫ノ方ニ多額ノ資金ヲ取ラレマスナラバ、國債ノ借入ニモ支障ヲ來シ、又産業組合ノ借入、市町村ノ借入ニ非常ナ支障ヲ來ス處ガ多分ニアルト思ヒマス、之ヲ以テ考ヘルナラバ、恩給金庫ガ預金部ノ方カラ金ヲ借リルト云フコトハ困難ナ事情ニアルノデハナカラウ

ス

カ、況ヤ又一般ノ金融情勢カラ考ヘマス、段々ト事變ノ擴大ニ從ツテ民間ニ於キマシテモ相當ニ公債ヲ引受ケナケレバナラヌ、又國民ハ増稅ニ依ツテ非常ニ困難ヲ來シマス、其全部ノ流動資金ハドウ云フ風ニ運用セラレテ居ルカラト見マスト、國債ニ對シテ四億五千万圓ヲ買入レテ居ル、而シテ産業組合カラ借入申込金額ハ二千九百五十八万八千百四十四圓、之ニ對シテ融通決定額ガ僅カ四百七十万九千百圓シカ融通シテ居ラナイ、又市町村ノ普通事業資金ノ借入申込金額ハ一億七千二百二十九万四千三百三十丸圓、之ニ對シテ僅カニ三千六百三十二万以テシマスルナラバ、預金部ニ於テ今後益、公債ノ買入ヲシナケレバナラヌ、而シテ産業組合竝ニ市町村方面ノ借入申込ハ段々殖エルバカリデス、若シモ此恩給金庫ノ方ニ多額ノ資金ヲ取ラレマスナラバ、國債ノ借入ニモ支障ヲ來シ、又産業組合ノ借入、市町村ノ借入ニ非常ナ支障ヲ來ス處ガ多分ニアルト思ヒマス、之ヲ以テ考ヘルナラバ、恩給金庫ガ預金部ノ方カラ金ヲ借リルト云フコトハ困難ナ事情ニアルノデハナカラウ

ス

○坂東委員 一般ノ金融情勢カラ考ヘマス、ナラバ、其確信通りクカ行カヌカト云フコトヘ、吾々ハ非常ニ疑問ヲ持ツテ居ルノデス、今後モ公債ハ御承知ノ通リ澤山發行シテ一般金融界モ資金ガ段々缺乏スルト云フ庫ガ或ハ十五倍ノ債券ヲ發行スルト云フコトニナツテ居リマシテモ、相當ナ困難ヲ伴ハナケレバナラヌ、勿論此法律案ノ中ニハ「割引」ト云フコトガアリマスカラ、債券發行ノトキ或ハ割引ヲシマセウ、割引ヲシマスナラバ其金利ハ高クナル、高クナリマスナラバ、此規定シテ居リマスルヤウナ金利ヲ以テ所定ノ計畫ヲ實行スルト云フコトハ困難デアル、斯ウ私ハ資金關係ニ於テ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ御意見ヲ御伺致シマス

其次ニハ例ノ恩給證書ノ再交付問題ニ付キマシテ、多少詳シク申上ゲマス、此再交付ニ付キマシテハ、實ニ容易ナラザル結果ヲ招來シテ居ルノデアリマス、詰リ再交付ノ結果金融業者ガ損害ヲ被リ、又其半面ニ於キマシテ恩給ノ受給者ガ不當ノ利益ヲ得テ居ル、斯ウ云フコトハ事實ニ於テ現レテ預金部ノミニ候ツ積リデハアリマセヌ、他居ルノデス、ソコデ此問題ヲ明ニスル爲ニ、

第三十七條 恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ハ其ノ效力ヲ失フ亡失ヲ理由トシテ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタル後從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ速ニ裁定官廳ニ之付シ私共考ヘテ居マス運轉資金ハ、必シモ預金部ノミニ候ツ積リデハアリマセヌ、他居ルノデス、ソコデ此問題ヲ明ニスル爲ニ、

前項ノ規定ハ前條第一項ノ規定ニ依リ恩給證書ノ再交付アリタル場合ニ付之ヲ準用ス」トアリマス、又昭和十二年閣令第七號デアリマス恩給證書又ハ細則デアリマスガ、



局ガ其内容マデ審査ヲシテヤラナケレバ  
キマシテ、サウ云フ事デヘナイノダト云フ  
シマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、飽マデ  
モ年金恩給ヲ擔保トスル金融ハ違法ナリト  
云フ大審院ノ判例デアルノデアリマスカラ、  
ソレヲ恩給局自身ガ認メテ、公ノ問題トシ  
テ處理スルト云フコトヘ出來ナイ、併ナガ  
ラ私共ノ肚ノ中カラ申シマスト、一體金ヲ  
借りテ返サナイト云フヤウナ不徳義ナコト  
ヲ獎勵スルト云フ意思ハ毛頭ナイ、ソレデ  
シテ此問題ヲ解決スルト云フコトハ望マシ  
イコトデアル、又官廳ノヤリ方トシマシテ  
モ、行政上ノ手心トシテサウ云フ事ヲ行フ  
ト云フコトハ、極メテ當然ノコトデアルト  
モ共ハ考ヘル、又將來モサウ云フ方針デヤッ  
テ行クコトガ宜シイト云フ風ニ考ヘテ居リ  
マス、若シ債権債務ノ關係ヲ全然無視シテ、  
全部ヲ踏倒シテ宜イト云フヤウナ考デヤル  
ノデアリマスレバ、内容ノ調査モ何モ必要  
ガナインデアリマシテ、其儘ドンヽ再證  
書ヲ發行シテ宜シイト云フコトニナルデセ  
ウ、ソコ迄ノコトヘ恩給局デヘ決シテヤル  
考デヘナイ、事實問題トシテハ、成程御説

ノヤウニ、サウ云フ摩擦ノ關係ヲ出來得ル  
限リ少クセシムルト云フコトニ努メテ居ル  
ノデアリマスガ、ソレハ表向キノ法規上ノ  
問題デハナク、實際上ノ手心ノ問題ダト云  
フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○坂東委員 今申シマシタ勅令、閣令ノ條  
文ヲズット味ツテ見マスト、實際上ノ必要ニ  
ジジテ公平ナル處置ヲシナケレバナラヌヤ

ナサラズ、又調べテ踏倒スト云フコトヲ知  
リナガラ、再交付スルト云フコトガイケナ  
イノデ、ソレ等ノ關係ヲ審議スル爲ニ右ノ  
資料ヲ要求シタワケナノデス、續イテ更ニ  
適確ニ申上ゲマスガ、交付シタ四百三十件  
ニ對スル所ノ債權債務ノ關係ト云フモノハ  
ナシノカアルノカ、之ニ付テアルナラバ個  
個ニ御伺致シマス

程度ノ警告ヲ與ヘルダケノ效果シカナイト思フノデス、私共ハ再交付ノ規定ニ依リマシテ、當事者ノ間ニ妥協ガ付ケバ宜シイケレドモ、妥協ガドウシテモ付カナイト云場合ニ於テハ、或ル場合ニ於テ再交付ノ規定ヲ活用シテ、金融業者側ヲ統制スル、又一面借方ノ惡徳ニ對シテモ相當ノ制裁ヲ加ヘテ、其兩者ヲ治メテ行ク所ニ、此規定ノ

ノヤウニ、サウ云フ摩擦ノ關係ヲ出來得ル  
限リ少クセシムルト云フコトニ努メテ居ル  
ノデアリマスガ、ソレハ表向キノ法規上ノ  
問題デハナク、實際上ノ手心ノ問題ダト云  
フコトヲ申上ゲタノデアリマス

リナガラ、再交付スルト云フコトガイケナ  
イノデ、ソレ等ノ關係ヲ審議スル爲ニ右ノ  
適確ニ申上ゲマスガ、交付シタ四百三十件  
ニ對スル所ノ債權債務ノ關係ト云フモノハ  
ナイノカアルノカ、之ニ付テアルナラバ個  
個ニ御伺致シマス

○高木政府委員 個々ノ問題ニ付キマシテ  
ハ、是ハ個人ノ名譽ニ關スルコトデアリマス  
シ、其内容ヲ具體的ニ申上ゲルコトハ出  
來ナイノデス、官廳ノ取扱ヒマシタ事務ト  
ノ機密ヲ外部ニ公表スルト云フコトヘ、  
吾々トシテハ出來マセヌノデ、其點ノ御要  
求ニ應ジ兼ネルノデアリマスガ、四百三十  
件ト云フ數ハ、實ハ申請數カラ見レバ極メ  
テ僅カナ數デアリマス、元來私共ノ考ヘマ  
スノニ、此再交付ニ依ッテ債權債務ノ關係ヲ  
無視スル、所謂借金踏倒シヲヤラセルノダ  
ト云フヤウナ考ハ、根本ニ於テ間違ダト由  
フノデス、若シサウ云フヤウナ考ガアレバ  
斯様ナ手數ノ掛ル方法ヲ取ラナクテモ、マ  
シテ再交付ノ途ヲ容易クセシメタト云フ、  
併シ私共考ヘマスノニ、勅令ヲ改正致シマ  
ス、又調べテ踏倒スト云フコトヲ知

思フノデス、私共ハ再交付ノ規定ニ依リマシテ、當事者ノ間ニ妥協ガ付ケバ宜シイケレドモ、妥協ガドウシテモ付カナイト云フ場合ニ於テハ、或ル場合ニ於テ再交付ノ規定ヲ活用シテ、金融業者側ヲ統制スル、又一面借方ノ惡徳ニ對シテモ相當ノ制裁ヲ加ヘテ、其兩者ヲ治メテ行ク所ニ、此規定ノ運用ノ妙ガアルト考ヘテ居リマス、デズカラマア此處ニアリマス四百二十件ト云ツタヤウナ件數ヘ、大數ノ上カラ考ヘマスレバ大シタ問題デヤナインデ、一々ノ内容ヲ申上、ゲルト云フコトハ不可能デゴザイマスケレドモ、其中ノ一二ノ顯著ナ事例ヲ示セト云フコトデアリマスレバ、具體的ノ問題ニ付キマシテ、顯著ナ事例ヲ御目ニ掛ケテモ宜イト思ヒマス

セヌカト云フコトハ、實ハコチラノ方デモ内容ヲ調査致シマセヌカラ分リマセヌガ、私共ノ考デヘ再度證書ヲ交付シタ爲ニ直ニ踏倒スト云フヤウナ不徳ナ受給者バカリデモナイト考ヘテ居リマス、大部分ノ受給者ノ申出ニ依リマスト、證書ノ再交付ヲ受ケテ自分ガ金ヲ受取シテ、ソレニ依ッテ返済ヲスルト云フコトヲ申シテ參ッテ居ルノデアリマス、最初カラ再度證書ノ交付ヲ受ケテ借金ヲ踏倒スト云フヤウナコトヲ申出テ居ル受給者モ居リマセヌシ、又サウ云フ者ガアルトスレバ、勿論恩給局デ以テ再度證書ヲ下付スル筈モナイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 サウスレバ再交付ノ時ニハ其債權債務ノ關係ハヤハリ皆調べテ居ル筈ナノデス、然ラバ其債務ハ再交付ヲ受ケマスナラバ、先ツ大體事實ニ於テ拂ッテ居ラナイモノト見ナケレバナラナイ、然ラバ恩給局デハ踏倒サレルト云フコトヲ大體想像シテ居ラナケレバナラヌ、ソコデ御伺致シマスアリマスガ、一體是ハドウ云フ場合ニ取下ゲマシタカ、又ドウ云フ場合ニ不交付ニ致シマシタカ、ソレヲ御伺致シマス

○高木政府委員 再度證書ノ交付ノ勅令ヲ出シマシテカラ後ニ、之ニ付テ又色々ノ弊害ガアルヤウデアリマス、金融者ノ側カラ申シマスレバ、再交付ヲ受ケルコトニ依ッテ自分ノ債權ノ確保ガ危クナルト云フノデ、受給者ニ對シテ詐欺ノ告訴ヲスルト云フヤウナ一種ノ脅迫ヲ致シマシテ

〔森委員長代理退席、委員長著席〕

ソレニ依ッテ取下ゲラセシメルト云ッタヤウナ事例ガアルノデアリマス、現ニ私共ガ扱ッテ居リマス上ニ於テモサウ云ッタ例ガ澤山アル、恐ラク此取下ゲノ三十七件ト云フノハ、サウ云フモノガ多イノデヤナイカ、尙ホモウツハ、受給者ト債權者トノ間ニ、再交付ヲシテシマッタナラバ、元モ子モナクナルト云フ考カラ致シマシテ、雙方ガ妥協致シマシテ取下ゲタ例モ相當アルノデアリマス、兎ニ角其事由ハ私共ノ方デ一々ニ付テハッキリハ分リマセヌガ、大體サウ云フヤウナ理由カラ取下ガ行ハレテ居ルモノト思フハ昨年此勅令ガ公布ニナリマスト同時ニ、相當多數ノ申請ガアリマシテ、マダ十分ニ手ガ著ケラレテ居ラナイノデアリマス、ソコデ中カラ成ベク急ラ要スルト云フヤウナ申出ガアリマシタモノ、又一面非常ニ事情ノ氣ノ毒ナモノ、斯ウ云フモノカラ先ニ交付スルトカ、之ニ交付シナイトカ云フヤウナコトハヤッテ居リマセヌ、順次手ヲ著ケ

害ガアルヤウデアリマス、金融者ノ側カラ申シマスレバ、再交付ヲ受ケルコトニ依ッテ給局ガ内容ニ入ラナイノデゴザイマスケレドモ、實際ノ手心ト致シマシテハ、サウ云フヤウナモノニハ交付ヲシナイ、交付ヲ差控ヘテ居ル、甚シイ不徳ヲ助長スルヤウナ場合ニ於テハ、ソレニ對シテモドンノ行スルト云フヤウナヤリ方ヲヤッテ居ル譯デナインノデアリマス、ソレガ不交付トンシテ現ヘレテ來テ居リマス

○坂東委員 然ラバ御伺致シマスガ、此交付シタル四百三十件ヘ、之ヲ軍人後援會ト然ラザルモノトニ分ケマスレバ、ドウ云フコトニナリマスカ

○高木政府委員 後援會其他ノ問題ニ付テハ色々御疑惑モアルヤウデアリマスガ、實ヤウニ、全部ヲ扱ッテ居ルノデアリマセヌノデ、今マデ交付致シマシタモノハ申請中ノ一部分デアリマス、今後サウ云フモノニ對シテモ交付スルコトアルヤモ分ラナイト譯デスカ

○高木政府委員 ソレハ又ドウ云フ理由ニ依ルヤウニ、全部ヲ扱ッテ居ルノデアリマセヌノデ、今マデ交付致シマシタモノハ申請中ノ一部分デアリマス、今後サウ云フモノニ對シテモ交付スルコトアルヤモ分ラナイト譯デスカ

○坂東委員 私ハ別ニ軍人後援會ニ對シテ云々スルノデハアリマセス、然シ政府ハスベテノモノヲ公平ニシナケレバナラヌト思フ、然ラバオ尋ネシマスガ軍人後援會ノ方ニ對シテ其證書ヲ擔保ニシテ居ルモノガ、再交付ヲ申請シタコトガアリマスカ

○高木政府委員 申請アルモノモ若干アルト考ヘマス、併ナガラ概ね軍人後援會ニ於テ扱ヒマスモノハ、軍人後援會ノ本旨カラ考ヘマシテ、サウ著シイ不當ナ貸付ヲシテ居ルモノトモ考ヘラレナイ、隨テ軍人後援會ノデアリマス、斯ウ云フモノカラ先ニ交付スルトカ、之ニ交付シナイトカ云フヤウナコトハヤッテ居リマセヌ、順次手ヲ著ケキマシテハ、先程モ申上げマシタヤウニ、居ルヤウナ狀態ニアリマス

○坂東委員 ソコデ交付シタ四百三十件ノ申シマスレバ、再交付ヲ受ケルコトニ依ッテ給局ガ内容ニ入ラナイノデゴザイマスケレドモ、實際ノ手心ト致シマシテハ、サウ云フヤウナモノニハ交付ヲシナイ、交付ヲ差控ヘテ居ル、甚シイ不徳ヲ助長スルヤウナ場合ニ於テハ、ソレニ對シテモドンノ行スルト云フヤウナヤリ方ヲヤッテ居ル譯デナインノデアリマス、ソレガ不交付トンシテ現ヘレテ來テ居リマス

○坂東委員 然ラバ御伺致シマスガ、此交付シタル四百三十件ヘ、之ヲ軍人後援會ト然ラザルモノトニ分ケマスレバ、ドウ云フコトニナリマスカ

○高木政府委員 後援會其他ノ問題ニ付テハ色々御疑惑モアルヤウデアリマスガ、實ヤウニ、全部ヲ扱ッテ居ルノデアリマセヌノデ、今マデ交付致シマシタモノハ申請中ノ一部分デアリマス、今後サウ云フモノニ對シテモ交付スルコトアルヤモ分ラナイト譯デスカ

○坂東委員 私ハ別ニ軍人後援會ニ對シテ云々スルノデハアリマセス、然シ政府ハスベテノモノヲ公平ニシナケレバナラヌト思フ、然ラバオ尋ネシマスガ軍人後援會ノ方ニ對シテ其證書ヲ擔保ニシテ居ルモノガ、再交付ヲ申請シタコトガアリマスカ

○高木政府委員 申請アルモノモ若干アルト考ヘマス、併ナガラ概ね軍人後援會ニ於テ扱ヒマスモノハ、軍人後援會ノ本旨カラ考ヘマシテ、サウ著シイ不當ナ貸付ヲシテ居ルモノトモ考ヘラレナイ、隨テ軍人後援會ノデアリマス、斯ウ云フモノカラ先ニ交付スルトカ、之ニ交付シナイトカ云フヤウナコトハヤッテ居リマセヌ、順次手ヲ著ケキマシテハ、先程モ申上げマシタヤウニ、居ルヤウナ狀態ニアリマス

會ニ對スル貸付ニ依ッテ、紛爭ヲ起シテ居ト云フヤウナ事例モ少イノデアラウト考ヘマス、又只今マデノ調ニ依リマスト、軍人後援會カラ借リマシタモノニ付テ、再交付ノ申請ヲシテ居ルト云フ事例ハ、甚ダ少イヤウニ考ヘルノデアリマスケレドモ、何分ニモ只今ノ所デハ事務上手廻リ兼ネテ居リマスノデ、全部ニ亘ツテノ調査ヲ致シテ居リマセヌカラ、是レ以上ノ御答辯ハ致シ兼ネマス

又保険ナンカニ入シテ居ラナモノデモ取扱シテ居ル、所ガ軍人後援會ノ方デハ自ラ生業者ノ方デハ保険ヲ付ケササナイモノモ澤山アル、故ニ此保険料ヲ一箇年例ヘバ一千圓ニ付四十圓、五十圓ヲ拂フモノトセバ、而シテ之ヲ計算スルナラバ、軍人後援會ノ方ガ非常ニ安イト云フコトハ斷定ガ出來ナイノデアリマス、故ニ三者、即チ軍人後援會、信用組合其他金融業者、此三者ヲ平等ニ、公平ニ扱フト云フコトガ、是ガ本旨デナケレバナラヌト私ハ信ジテ居ル、然ルニモ拘ラズ、軍人後援會ノ方ノ再交付申請ニ對シテハ之ヲ再交付シナイ、而シテ一般ノ金融業者ノ分ニ對シテ之ヲ再交付スルト云フコトハ、一般金融業者ノ債權ヲ踏倒スト云フコトヲ恩給局ハ考ヘテ、少クトモ之ヲ考ノ中ニ入レテ處決シテ居ルモノト私ハ考ヘル、是ハ非常ナ不當千萬ナコトデアルト思フ、此點ニ對シテハ、恐ラクソレ以上政府委員ハ御答辯ハ出來ナイト思フ、併シ百三十件其他全部内容ヲ本當ニ知ラナケレバ、正シイ審議ハ出來ナイト吾々ハ考ヘルノデス、故ニ、又適當ノ機會ニ於キマシテ

更ニ申上ゲマスガ、此點ダケニ付キマシテ  
ハ、是デ質問ヲ止メテ置キマス、而シテ此  
再交付ノ結果、恩給局長ガ裁定シテ居ルモ  
ノミナラズ、或ハ地方長官其他ノモノニ於  
キマシテ、ドンヽ裁定シテ居ル所モアル、  
ル叫ビヲ擧ゲテ居ル、其例ハ全國ニ幾ツモ  
アリマス、其一つノ實例ヲ申上ゲマス、九  
州ノ久留米カラ來テ居ル一例ヲ申上ゲマス、  
「抑、我が國諸法規制定ノ精神タルヤ、正義  
人道ニ立脚立案セラレタルモノニ他ナラズ  
ト信ズ、古來國民ハ立法ノ精神ヲ遵守スペ  
ク、然ラザル不正ノ國民ハ之ヲ戒シメ、以  
テ忠良ナル臣民タラシムベク夙夜御高配ヲ  
煩ハシ居ル所ナリ、然ルニ客年七月恩給法  
ノ一部改正ニ伴ヒ、恩給證再交付ヲ容易ニ  
認メラル、コトトナリタルハ、是レ全ク正  
義人道擁護ノ精神ヨリ發令ヲ見タル由縁ナ  
リトス、然リト雖モ之ヲ悪用センカ社界思  
想上ニ及ボス影響ハ又甚大ナリトス、恩給  
證質權擔保ニ供スルコトノ出來得ザル儀ハ、  
同證裏面注意書ニ明示ノ所ナルニ拘ラズ、是  
ガ受領スルノ權利ヲ委任シ、立替融資ヲ受  
クルコトハ已ムヲ得ズ特殊ノ事情存在ニ基  
因スルコト明カナリ、此特殊事情ニ困窮惱  
顧スル國家ノ功勞者ニ對シ、同情融通シタ

ルモノニ他ナラズ、茲ニ相互間ニ民法ノ債權債務關係ヲ生ジ、債務者ニシテ恩給受領ノ義務ナリ、然ルニ債務者タル受給者ニテ貸借契約當時ノ恩義ヲ忘却シ、敢テ恥ヂズ、債權者ニ損害ヲ與フベク惡意ヲ以テ再交付申請ヲ爲シツ、アルノ實情ニ對シ、何等ノ御調査ナク再交付ヲ見ルニ於テハ、債權ノ侵害セラル、所トナリ、益此不正行爲擴大助長トナリ、債權者ハ再交付ニ脅カサレ、戰々兢々タリ、此儘放任サレンカ債權者ニシテ食ニ窮シ、路頭ニ迷フ者モ續出スルノ實情トナリ、斯クテハ社界政策上由々シキ重大問題ナリト信ズ、一方債權者タル恩給立替者ニ對シテハ、稅務署ハ公然營業収益稅ヲ賦課徵收セラレツ、アル今日、債權ガ公正タルベキ政府ノ措置ニ依リ侵害セラル、コトハ矛盾モ甚シキ感アリ、刻下社會風潮一新ノ秋、洵ニ遺憾トスル所ナリ」云々、斯ウ云フ手紙ガ來テ居ル、是ハ全ク實情ナンデス、私共ハ其實情ヲ能ク知シテ居ル、之ヲ以テ考ヘマスルナラバ、苟モ恩給再交付ヲスル場合ニハ、其實情ヲ調査シテ、而シテ出來得ル限り妥協ノ途ヲ講ゼシムルト云フコトガ、是ガ全ク公正ナル政府當局ノ仕方デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、

然ルニ一方ニ於キマシテハ、軍人後援會ノ分ノ再交付ハシナイ、一方ニ於テ普通民間ノ金融業者、ソレハ踏ミ倒スト云フコトヲ知リナガラ再交付スルト云フコトヲアルト考ヘル、ソレハ途ハアルノデス、債權者ハ飽マデ契約ニ則ツテ斯クセヨトハ言ハナイ、若シ恩給局ノ諸君ニシテ、本當ニ大乘的ニ考ヘラレテ、マア此位ニシタラ宜イデヤナイカト云フナラバ承知シナイ者ハナイ、ソレヲ少シモサウ云フ相談ヲシナイデ、サウシテ全部金融業者ノ貸金ニ對シテ、損害ヲ知リナガラ再交付ラスルト云フコトハ、全ク大ナル社會問題デアルト吾々ハ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、此點ニ關シマシテ、尙ホ御考ヲ御聽シシテ置キタ依〇高木政府委員 金融業者ガ恩給年金ヲ擔保トシテ金融ヲスルコトハ違法デアルト云フコトヲ知リナガラ貸ス、是ハ今ノ請願ハ實ハ私共ニモ近來ドツサリ參ッテ居リマスガ、其請願書類ニ依ツテ見テモ、金融業者自身既ニ其事ガ惡イノダト云フコトヲ知ツテ居ルノデアリマス、總テ知リツ、尙ホ其法規ノ裏ヲ潛ツテヤルト云フ所ニ、各人ノ危険ト云フコトハ豫想シテ居ルベキデアツテ、

ソレヲ今更道義的ニ考ヘテ困ツテ居ルカラ  
貸シテヤツタノダ、ソレヲ救濟シロト云フヤ  
ウナコトヲ言ツテ參ル所ニ私共ハ非常ニ不  
思議ニ感ズル、併ナガラ私共ノ考ト致シマ  
シテモ、借倒シヲ獎勵スルト云フヤウナ考ハ  
少シモナイ、道義上ノ問題トシテハ無論借  
リタ金ヲ返スノガ當リ前デアル、借リタ金  
ヲ踏倒スト云フヤウナ、不德義ヲ獎勵スル  
ト云フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、ソ  
レデアリマスカラ實際問題トシ恩給局トシ  
テハ、出來得ル限リ兩者ノ間ニ圓満ニ問題  
ガ解決スルコトヲ希望致シテ居リマス、又  
サウ云フ風ニ努メルヤウニ致シテ居リマス  
ガ、表向ノ問題ト致シマシテハ、先程カラ  
申シマシタヤウニ、何處マデモ其關係ヲ公  
ノモノトシテ認メテ處理スル譯ニハ行キ兼  
ネルノデアリマス、ソレカラ内容ヲ或ル程  
度ニ調査シテヤレト云フ御話デアリマスレ  
バ、高利ヲ貪ッテ居リマス金融業者ニ對シテ  
再交付ヲシマシテ、軍人後援會ナリ其他比  
較的低利デアルト云フヤウナモノニ對シテ  
交付ヲ遲ラセルト云フコトハ、必シモ不公  
平ダトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、私  
共ハ其積リデ交付ヲシナイノデヤナイノデ  
アリマシテ、實際ハ手廻リ兼ネテ交付ヲシ  
ナイノデアリマスケレドモ、若シ内容ヲ審

査シテヤルト云フコトニナリマシテモ、ソレハ非常ナ高利ヲ今マデ貪ッテ居ツタ、手數料トシテ二割モ三割モ取ツテ居ルト云フヤウナ甚シキ不當ナル貸付ヲ爲シテ居ルモノニ對シテ先ニ交付致シマシテ、後援會其他或ル程度ニ於テ妥當ト考ヘラマスヤウナ條件デ貸付ヲシテ居リマスモノニ對シテノ再交付ヲ後廻シニスルト云フヤウナコトガアリマシテモ、ソレハ必シモ不公平デハナイノデヤナイカ、先程ノ坂東サンノ御議論ト一致シテ居ルノデヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマス

○坂東委員 ドウモ御答辯ガ何ンダカ引掛リガアルヤウニ私ハ考ヘルノデス、再交付ヲ申請スル時分ニハ、關係書類ガ付イテ來ル筈ナノデス、其書類ニ依ツテ再交付ヲスルト云フ譯ナノデアル、サウシマスルナラバ、恩給局ハ必ズ其債權關係ノ内容ハ全部知ツテ居ル筈デアル、所ガ事實ニ於テソレ等ノ者ノ殆ド大部分ガ借金ヲ踏倒シテシマッテ居ルノデアルヤウデアリマス、而シテ一面成程恩給擔保ガ禁ゼラレテアリマスカラ、民事裁判ナラバ債權者ガ敗北致シマスガ、其半面ニ於テ其債權者ハ恩給金ヲ擔保ニスル意思ナクシテ擔保ニ供シタモノデアルト云フ理由ニ依ツテ、恩給證書ヲ取返スコ

トガ出來テモ、斯クシテ金ヲ借りタコトハ  
詐欺デアル、詐欺取財ニ依ツテ懲役八箇月  
ニ處セラレタル所ノ實例ガアル、ソレハ  
アナタ方ガ知リマセヌカラ、此間私ガ申上  
ゲタノデスガ、ソレハチヤント速記録ニ載ッ  
テ居ル、サウシマシタナラバ、今アナタガ  
言ハレタヤウナ、サウ云フ形式的ノ考デ再  
交付ヲ致シマスルナラバ、債權者ハ進ンデ  
自己防禦ノ立場カラ自衛權ノ發動ニ依ツテ  
詐欺取財ト云フヤウナコトデ争ガ起ル、是ハ  
政治的ニモ再考ヲシナケレバナラヌコトデ  
アル、事實ニ於テサウ云フコトガ度々アル、  
サウシマスルナラバ、唯一ツノ親切ニ依ツ  
テ、恩給局ハ債權者ノ立場ヲ考ヘテ適當ニ  
妥協セシムル所ノ勞ヲ取ラナイ結果ト致シ  
マシテ、或ハ債務者ノ中ニハ陸軍ノ立派ナ  
人モアリマセウシ、或ハ勤任官デアッタ人モ  
アリマセウガ、サウ云フ立派ナ人ガ詐欺取  
財ノ罪ニ問ハレルト云フヤウナコトガ生ジ  
マスルナラバ、恩給局ハ政治的ニモ大責任  
ガアルト思フ、又社會的ニモ非常ニ大問題  
デアルト思フ、故ニ恩給局ハ十分ニ調べテ  
出スト云フコトガ當然デナケレバナラヌ、  
然ルニ是マデノ實例ニ依リマスト、妥協シ  
テ居ルニモ拘ラズ、ソレヲ無視シテ再交付  
シタ實例モアル、是ハ一體ドウ考ヘラレマ

スカ、債権者ハ妥協スレバ宜イヂヤナイカ、ソレヲ無視シテ再交付ヲスルト云フコトハ故意ニ一部ノ債権者ニ損害ヲ與ヘル、甚ダルト考ヘル不當不徳義ナル行政的手段デアルト考ヘルノデアリマスガ、ソレニ對シテハドウ云フ考デアリマスカ

○高木政府委員 只今ノ御話ノ中ニ妥協シ  
タ者ニ對シテ再交付ヲシタト云フヤウナコ

於テハ大體再交付ノ取下ガアルベキダト思  
フノデゴザイマシテ、或ハ取下願ガ出テ居  
リマセヌノデ、恩給局トシテサウ云フコト  
ヲ知ラズニヤッタモノト考ヘルノデアリマ  
ス、雙方ノ間ニ協調ガ付キマシテ、再交付  
出來ナイ、再交付ノ必要ナシト云フコトデ

アレバ、恩給局ハ無論サウ云フコトヲ希望スルノデアリマシテ、妥協ガ付キマシタ所ノニ對シテ迄モ故ラニ借金踏倒シノ爲ニ再交付シタト云フコトハ、私ハ聞イタコトモゴザイマセヌシ、又將來モサウ云フヤウナコトハ絶対ニアル道理ハナイト思ヒマス、ソレカラ又詐欺ニナッタト云フ大審院ノ判例ヲ先日御話ガアリマシテ、是モ何カ私ノ方デ故意ニ出サナイト云フ風ニ御考ニナニテ居ラレルヤウデアリマスガ、決シテサウ云フ譯デハアリマセヌノデ、私共ノ調ガ不

示シ下サイマシテ實ハ有難ク考ヘテ居ルノ  
デアリマス、私共ノ立場カラ考ヘマスト、  
一體年金恩給ヲ擔保トスルト云フコトヲ申  
シマシテ、最初カラ金ヲ返ス意思ガナクシ  
テサウ云フヤウナコトヲヤッタスレバ、當  
然ソレハ刑法上ノ詐欺ニナルノデアリマシ  
テ、御示シニナリマシタ判例ニ於テモ同様  
ナノデアリマス、詰リ恩給證書ヲ擔保トス  
ルト云フコトヲ偽ツテ、サウシテ相手方カラ  
金ヲ借りタ、ソレガ財物ノ騙取ト云フコト  
デ詐欺罪ヲ構成シタト云フノデアリマスガ、  
私共ハサウ云フ不德義ナ受給者ガ刑事上ノ  
問題トシテ處罰サレルト云フコトヘ、寧ロ  
喜ブベキコトダト云フモ考ヘルノデア  
リマス、サウ云フヤウナ最初カラ詐欺ヲス  
ルトカ騙取ラスルト云フヤウナ目的デヤル  
ノデアリマスレバ、當然ソレハ處罰サレル  
ノハ當リ前デゴザイマス、ソレヲ何モ恩給  
局ノ方デ防止スル必要ハナイノデ、サウ云  
フ不德ナ人間ハドン／＼處罰シテ戴イタ方  
ガ宜イト考ヘテ居リマス、併ナガラ現在ノ  
制度ノ上ニ於テハ、年金恩給ヲ擔保トスル  
金融ハ認メラレテ居ナイノデアリマスカラ、  
當事者ガ最初ソレヲ擔保トスルト云フ考デ  
一定ノ債權債務ノ關係ヲ生ジタ、後ニ至ツテ

他ノ方法デ以テ返済スルト云フコトハ決シ  
テ詐欺ニハナラヌト思ヒマス、ソレデアリ  
マスカラ證書再交付ノ問題ト詐欺ノ問題ト  
ハ私共ハ全然別問題デアッテ、證書ヲ再交付  
スルコトニ依ツテ何等踏倒スト云フコトガ  
直チニ出テ來ナイ、假ニ踏倒ス者ガアッテ  
モ、ソレハ非常ニ不徳義ナ者ナノデアッテ、  
其事例ガ若シ犯罪ニ當ルヤウナモノデアリ  
マスレバ、宜シクソレヲ嚴重ニ處罰シテ差  
支ヘナイト考ヘテ居リマス

ゾ、所持致置候也、解決條件一、現在殘債元金九百三十圓也ニ減額スルコト、但シ昭和十三年六月末日マデニ完済スルトキハ、予ハ年六分ニ低減シ、本年十二月分ノ利子ハ之ヲ免除シテ、昭和十三年一月ヨリ之ヲ起算スルコト、三、昭和十二年十月渡シ分ヨリ各期受領金二百圓也ヲ債權者ト債務者ニ於テ之ヲ折半シタル各自金一百圓也ヅ、完済ニ至ルマデ該金額ヲ受領スルコト、以上昭和十二年十二月十八日右何某、右何某」斯ウ云フ所ノ例ガ一ツアリマス、又其次ニ「一、恩給種類教職(元中學校教員)二、記號番號ル第五四〇二號、三、年額金六百六十圓、四、氏名何某、右ノ恩給證書ヲ以テ、昭和十年八月三十日金一千五百四十圓也貸付ケタルニ、僅ニ同年十月渡シ分ノ一回分金百六十五圓也受領シタルノミニテ、以後支給停止シテ受領ヲ妨害シ、民事裁判ヲ以テ恩給證書返還請求訴訟ヲ提起シ來リ、目下係争中ノモノナルモ、本人ハ永年中等教育ノ職ニ在リ、子弟ヲ教育シ恩給ヲ拜受スルニ至リタル身分ナルニ、恩給證書ノ擔保禁止事項ヲ承知惡用シ、當初ヨリ計畫的且合法的詐欺の借入ナルコト明ナリ、適、恩給證書再交付勅令發布サレルヤ、民事返還訴

訟ヲ拠チ、直チニ恩給證書再交付ヲ申請シ、  
既ニ新證書ヲ取り、其間停滞中ノ恩給金ヲ  
全部受領シ、債權者ニハ一錢モ返金内入レ  
ヲナサズ、其儘債務ヲ踏倒シ莫大ナル損害ヲ  
受ケタリ」、斯ウ云フコトガアツタノデアリ  
マス、前ニ申上ダマシタ例ハ、其示談解決  
書ハ確ニ書留郵便ヲ恩給局ニ行ッテ居ル筈  
デアリマス、ソレヲ無視シテ債權者ニ證書  
再交付ヲシタノデアリマシテ、妥協シマシ  
タ所ノ千圓ノ金モ、元ノ殘存金千九百七十  
八圓四十錢モ、全部踏倒シタ、斯ウ云フ實  
例ガアリマスガ、之ヲ御承知ニナッテ居リマ  
スカ、御伺致シマス

號へ第二三三八一號、年額金八百七十一圓  
也、右ノ者ニ對シ、昭和十一年十二月十七  
日約三箇年半分金三千圓也ヲ立替ス、然ル  
ニ三期分六百五十三圓二十五錢代理受領シ  
タル時ニ至リ、再交付ノ勅令公布サレ、昭  
和十二年八月十三日付ヲ以テ、本人ヨリ恩  
給證書ノ返還ヲ内容證明ヲ以テ申來リ、恩  
給ノ支給ヲ差止メタリ、其後本人側トモ圓  
滿解決示談スペク、利子其他ノ點ニテモ低  
利又ハ無利息ニスルト云フ條件ニテ交渉ノ  
結果、漸ク本人側トモ示談ヲ爲シ、昭和十  
二年十二月十一日付ヲ以テ再交付申請取下  
ヲ恩給局ニ送リ、一應解決シタル處、其後  
惡德三百代辯者及辯護士等本人側ヲ使嗾シ  
タル者アリタル爲、又モヤ變心シタルカ其  
儘トナリ、爾來屢々交渉中、遂ニ昭和十三年  
二月十六日ニ至リ、再交付證書下附サレタ  
ル爲、元利金二千九百六十九圓八十八錢也  
ノ債權ヲ踏倒サレタリ」

ヲ爲シ來リ、直チニ恩給支給ヲ停止シ、早速本人側ト示談交渉スルモ受付ケズ、其債務七〇圓ヲ踏倒サレタリ、是ハ最モ惡辣極マル詐欺的ナル例ニテ、而モ其保證人タル息子ハ、陸軍退役大尉ニテ、其者ノ恩給證書ハ帝國軍人後援會ニテ最大限度ニ借り盡シテ居ル爲、自己ノ老母ノ扶助料ヲ持チ來リ、借入ヲ爲シタルモノニテ、本人ハ慶應二年四月生レ、七十二歳ニナリ、生命保険モ無キ危險ヲ冒シ貸シタルモノナリ、踏倒サレタル該金高ハ、僅カ七十圓ナルモ勅令ヲ惡用シタル例ナリ」

ヲナシ居リタリ、右ハ惡辣ナル勅令悪用最  
タルモノナル故、當初債權者ヨリ恩給局ニ  
モ貸借顧末書及嘆願書ヲ提出シタルモ、遂  
ニ去ル昭和十三年一月二十日頃再交付ノ新  
產業組合中央金庫ヨリ、長年ニ瓦リ恩給證  
書ヲ以テ多額ノ借入金アリタルモノヲ、新  
債權者ニ借替ヲ爲シ吳レト申シ來リ、ソレ  
ヲ支拂ヒテ貸與シ窮乏ヲ救ヒタルニ、自己  
ノ長年ノ舊借金ヲ言ハズ、恰モ新債權者ニ  
於テ長年ニ瓦リ恩給證書ヲ戻サズト云フ理  
由ヲ以テ、再交付申請ヲ爲シタルモノナラ  
ンモ、恩給局ハ債權者ノ債權内容ヲ何等調  
査セズシテ、債務者ノ言分ノミヲ信ジテ生  
ジタル勅令被害例ナリ」

ク元金一千圓也ニ切り、減額示談解決毎期受領金ハ兩者ニ於テ之ヲ折半スルコトニシテ、舊曆十二月十八日再交付申請取下願一箇月後タル本年一月二十日頃新證書再交付實現シタルヲ以テ莫大ナル損害ヲ生ジタリ」是ガ恩給金融業者ニ對スル所ノ實例デアル、政府ハ此社會ノ實情ヲ見テモ尙ホ踏倒スコトヲ豫想シナガラ、之ヲ輕々ニ再交付スルト云フコトハ、社會上大問題デアルト云フコトニ御氣ガ付カヌノデアリマセウ

ナイヤウニ、弊害ヲ根絶スル必要モアルト  
云フ風ニ考ヘルノデゴザイマシテ、今度金  
庫ガ出来ルコトニナリマスレバ、將來ハ一  
般ノ金融ト云フコトハ恐ラク無クナルデア  
リマセウシ、再交付ニ依ルサウ云フ弊害ト  
云フコトモ、恐ラク無クナルコトト考ヘマ  
ス

ガ、第七十議會ニ於テ前恩給局長ハ債權者ニ付テハ考ヘル、既得權ハ認メル方針ヲ執ルト云フ意味ノコトヲ言明シテ居ラレル、ドウカアナタハ其時ノ速記録ヲ十分御覽ラ願ヒタイ、又サウデナケレバナラヌト思フ、又政府ノ行政的ノ手段ニ依ッテ直グ解決スルコトガ出來ルノデアル、恩給局デ斯ウシ

居ル、故ニソレト引較ベマスレバ、此金融業者ヲ高利貸デアルト貶スト云フコトハ、社會ノ實情ヲ知ラナイモノデアルト謂ハナケレバナラヌ、故ニ尙ホ一層進ンデ十分ノ調べヲシテ貫ハナケレバナラヌ、殊ニ又再交付ヲスルニ當リマシテハ、此勅令閣令ノ條文ヲ見マシテモ十分内情ヲ調べ

○坂東委員　此再交付ノ勅令ト閣令ハ是ヘ  
恩給金庫ノ制定ト姊妹關係ニアル、恩給金  
庫法案ガマダ第七十議會デ潰レテ居ルニモ  
拘ラズ、既ニ昨年七月ニ發布サレテ居リマ  
シテ、其後再交付ノ申請ガ約五千人ニ達シ  
テ居ル、平均八百圓ニシマシテモ四百万圓  
ト云フ債務ガ付イテ居ル、此中四百三十件  
ヲ再交付シタト云フコトガ資料トシテ提出  
サレタ譯ズ、而モ不思議ナコトハ再交付  
ヲ申請致シマスレバ、當局ハ十分調査ヲシ  
ナイ中ニ、既ニ恩給支給ガ停止サレマス、  
隨テ恩給證書ヲ持ツテ居リマシテモ、支給ハ  
受ケナイ狀態ニアル、之ヲ以テ見マスレバ、  
恩給金庫ガ出來ナイ時分ニ於テモ、既ニ斯  
ウ云フヤウナ亂暴ト申シマセウカ、一部ノ  
人ニ對シテ損害ヲ與ヘルヤウナ行政的ノ手  
段ヲ採ツテ居ルナラバ、法律ガ出來マヌカラ  
バ、殆ド現在ノ約二億餘万圓ノ債權ハ全部  
庫ガ出來ルコトニナリマスレバ、將來ハ一  
般ノ金融ト云フコトハ恐ラク無クナルデア  
リマセウシ、再交付ニ依ルサウ云フ弊害ト  
云フコトモ、恐ラク無クナルコトト考へマ  
ス

ガ、第七十議會ニ於テ前恩給局長ハ債權者ニ付テハ考ヘル、既得權ハ認メル方針ヲ執ルト云フ意味ノコトヲ言明シテ居ラレル、ドウカアナタハ其時ノ速記録ヲ十分御覽ラ願ヒタイ、又サウデナケレバナラヌト思フ、又政府ノ行政的ノ手段ニ依ッテ直グ解決スルコトガ出來ルノデアル、恩給局デ斯ウシ

居ル、故ニソレト引較ベマスレバ、此金融業者ヲ高利貸デアルト貶スト云フコトハ、社會ノ實情ヲ知ラナイモノデアルト謂ハナケレバナラヌ、故ニ尙ホ一層進ンデ十分ノ調べヲシテ貫ハナケレバナラヌ、殊ニ又再交付ヲスルニ當リマシテハ、此勅令閣令ノ條文ヲ見マシテモ十分内情ヲ調べ

ガ、第七十議會ニ於テ前恩給局長ハ債權者ニ付テハ考ヘル、既得權ハ認メル方針ヲ執ルト云フ意味ノコトヲ言明シテ居ラレル、願ヒタイ、又サウデナケレバナラスト思フ、又政府ノ行政的ノ手段ニ依ツテ直グ解決スルコトガ出來ルノデアル、恩給局デ斯ウシテ來イト言ヘバ、解決スルコトハ出來ルヤウナ狀態ニアル、何ト申シマシテモ恩給金融業者ハ弱イ立場ニアリマスカラ、恩給局デ決マレバ直グニ決マル、ソレヲ決メナイデ、損害ヲスルト云フコトヲ知リナガラ再交付ラスルト云フコトハ社會的ノ罪惡行爲デアル、重ネテ申シマスガ、アナタノ申シマスコトハ、單ニ法ノ條文ニ拘泥シタ議論デ、法律ノ條文カラ申シマスナラバ、少シモ惡イコトデハアリマセヌケレドモ、社會ノ實情カラ考ヘマスレバ、決シテ良イ手段ト考ヘルコトハ出來ナイ、申スモ畏多イコトデアリマスガ、明治大帝陛下ノ恩給法ニ對スル大御心ヘ、即チ一視同仁デアラレルト思フノデアリマス、金ヲ貸ス者ヲ惡德ト申シマスガ、惡德デナイ者モアル、又多少資本ノアル人間ハ年一割五分以上ハ取ツテ居リマス、又一割以下ノモアリマス、ソレ以上ハ惡德「ブローカー」ノ手ニ依ツテヤツテ

居ル、故ニソレト引較ベマスレバ、此金  
融業者ヲ高利貸デアルト貶スト云フコト  
ハ、社會ノ實情ヲ知ラナイモノデアルト  
謂ハナケレバナラヌ、故ニ尙ホ一層進ンデ  
十分ノ調ベヲシテ貰ハナケレバナラヌ、殊  
ニ又再交付ヲスルニ當リマシテハ、此勅令  
閣令ノ條文ヲ見マシテモ十分内情ヲ調ベ  
テ、妥協セシメテヘトハ書イテアリマセヌ  
ケレドモ、法文ノ裏面ヲ讀ンデ見テモ、社  
會ノ常識カラ考ヘテモ、十分調ベテ道理ノ立  
ツヤウニ納得サセルヤウニト云フコトガ裏  
面ニ吾々ニハ讀メルノデス、出來得ルコト  
デアルニモ拘ラズ、法律ノ條文ニ拘泥シテ、  
一部階級ノ者ニ不利ヲ與ヘルト云フコトハ、  
是ハ非常時局ニ於ケル官吏ノ態度トシテ怪  
シカラヌコトデアルト吾々ハ考ヘナケレバ  
ナラヌ、故ニ私ハ此點ニ付キマシテ、恩給  
局ガ提出シテ居ル所ノ法案ニ對シマシテハ  
無論賛成スルコトガ出來ナイ、十分更ニ適  
當ナル方法ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマ  
ス、隨テ現政府委員ノ御答辯ハ少シモ私ハ  
満足ヲ致シマセヌ

シテ、國家ノ財政的ノ負擔ト申シマスカ、  
ソレハ大體ニ於キマシテ、出資金ノ利子ヲ  
十年間減免スルト云フ程度ニ止メマシテ、  
其他ハ前回來屢、説明申上ゲマシタヤウニ、  
成ベク金庫ノ自給自足デ行クト云フ立前デ  
行キタイト思ヒマス

圓ノ收入ヲ此金庫ノ爲ニ減少スルト云フ結果ニナツテシマイマス、之ニ對シテ如何ナル  
御考ヲ持ッテ居リマスカ

○高木政府委員 大體サウ云フ場合ニ於キ  
マス課稅ト云フモノハ、サウ云フ不當ナ、  
或ハ不法ナ原因ニ依ッテ得タト云フヤウナ

コトヲ想像シテヤッテ居ルモノトハ考ヘマ  
セヌ、ソレデアリマスカラ、或ハ實際問題  
、シニ國庫ノ收入デ吉ニ成ハスレ、云フヤ

レシテ國庫ノ收入ガ若干減少スルニ云フヤ  
ウナコトガアルカモ分リマセヌガ、ソレハ  
無論政府當局ト致シマシテハ正シイ道ニ還

ス、只今マデノ色々ナ弊害カラ考ヘテ、之ヲ正シイ道ニ還スト云フ立前カラ致シマシテ、當然負擔スベキコトダラウト考ヘマス

○坂東委員 サウ云フコトデアリマスレバ、  
只今申シマシタ國家竝ニ地方ノ此財政收入  
ノ減少ト云フコトハ、余り御考ニナッテ居ラ

レナカツタラシイ、不當ト申シマスガ、金ヲ  
貸スト云フコトハ不當デハナイ、恩給擔保

ガ不當デアリマシテ、貸借關係ハ不當デモル其委任行爲モ不當デハナイ、唯引括メテ  
ルデモナイ、又恩給ヲ受取ル權利ヲ委任ス

恩給擔保ト云フ形ニナル點ガ不當デアルノ  
デ、貸借關係ハ少シモ不當デハナイ、故ニ  
稅務署ハ此貸付金ニ對シテ公然ト帳面ヲ調

ベテ大體年一割五分ト云フ利息ト認定シテ

税金ヲ拂ハセテ居ルデハアリマセヌカ、現  
在ハ約二百万圓位デアリマスカラ、増稅ガ

通過致シマスレバ國稅ダケデ約三百万圓ヘ  
チヤント拂フコトニナルノデス、不正行爲  
デ兌金ヲ拂ツテ居ルノデハナイ、金貸ノ民法

上ノ行爲、營業行爲ニ對シテチヤント稅金ヲ拂ツテ居ルノデアル、不正ナルガ故ニ稅金

ヲ徵收シテ居ルモノヂヤナイコトハ勿論デア  
リマス、此債權債務ノ金融業ト云フモノハ  
正シキ營業デアル、サウ云フ立前ニ於テチ

ヤント取ツテ居ル、アナタハ恩給證書ノ擔保ト云フコトト、此債權債務ノ金融ノ營業ト云フコト昆司シテ居ラレルラシイ、ソレ

ハ區別シテ考ヘナケレバナラナイ、何ト申シマシテモ約一箇年三百万圓ノ國稅ノ減收

ヲ來シ、又地方稅市町村稅ニ於キマシテモ  
百五十万圓内外ノ減收ヲ來スト云フコトハ、  
是ハ見易イ事柄デアル、然ラバ恩給金庫ノ

制定ハ是ダケデモ大ナル國家、地方及ビ國  
民ノ負擔デナケレバナラナイト思フ、若シ  
爾ツテ考へマスルナラバ、國家ノ三百万圓ノ

減收、此三百万圓ヲ他ニ利用致シマスナラバ、恩給受給者ヲ救フ途ハマダ其他ニ澤山アル

ト思フ、一面ニ於テ兎角ノ疑アル制度ヲ設ケ  
ヨリハ、其他ノ方法ガ澤山ニアルト考ヘルガ

故ニ、私ハ此點ニ關シマシテモ政府委員ノ御答辯ニ満足スルモノデハナイ、事實ニ於テ満

足シタクテモ道理上ソレハ出來ナイノデアル  
更ニ申上ゲマスルガ、保険金契約ノ點、  
現ニ恩給受給者ハ金ヲ昔リレ場合ニハ大

體ニ於テ保険ガ付イテ居ル、其保険金額ハ此間政府委員ノ答辯デハ、大體借金ト

同額位デアル、サウ云フ答辯ヲサレテ  
リマスカラ、サウ私モ大體考ヘマスガ、サ  
ウシマスルナラバ、二億圓ナラバ二億圓

ノ保険金ガ付イテ居ル即チ契約ガアル譯デ  
ス、若シ此法律ガ出來タ時分ニ於キマシテ、  
風合金車デハ一年三分ノ補賞料ヲ取レコト

ニナル、サウシテ是マデ保険料金ヲ拂ッテ  
居ル者ハ——假ニ二億圓ナラ二億圓ノ保険

ガズット繼續シマス、若シソレヲ恩給金庫カラ  
ラ借リマスレバ、此二億圓ノ保険契約ハ、  
片方デ補償料ヲ拂ッテ居ルカラ、モウ拂フコ

トハ出來ナクナッテ シマフ、サウシマスレ  
バ、是マデ折角拂ッテ居ル自分ノ財産ノ一  
部デアル保金ガ、恩給金車ガ金ヲ貸スコ

トニ依ッテ、殆ド全部ガ失效トナルモノト考  
ヘナケレバナラナイ、保険ノ解約ニ依ッテ

一部シカ取ルコトが出来ナリ サウニフ  
損害ヲ被ムルト思ヒマスガ、之ニ對シテド  
ウ云フヤウナ御考デアリマスカ

○高木政府委員 其點ニ付キマシテハ、前回來屢、御説明申上ゲタノデ、既ニ御諒解ヲ得テ居ッタノカト思ッテ居ッタノデアリマスガ、恩給金庫ガ出マシテ、恩給金庫デ貸付ヲ致シマシテモ、從來ノ保険契約ヲ直チニ解除スル必要ハナイノデアリマス、總テノ場合ニ補償料ヲ取ルト云フノデヤナインオアリマス、ソレデスカラ既ニ生命保険ニ加入シテ居ッテ其生命保険證書ヲ提供スル場合ニ於テハ補償料ハ割引ヲスルノデアリマシテ、其儘保険ヲ繼續シテ行クコトニナルノデスカラ、其點ハ何等影響ハナイト考ヘマス

○坂東委員 其割引ノ程度ニ依リマスルガ、割引ノ程度ハドウ云フコトニナッテ居リマスカラシテ、其儘保険ヲ繼續シテ行クコトニナルノデアリマス

○坂東委員 其割引ノ程度ニ依リマスルガ、割引ノ程度ハドウ云フコトニナッテ居リマスカラシテ、其率ヲ平均二分ト計上致シタ譯デアリマス、其部分ガ割引ヲサレルコトニナルノデアリマス

○坂東委員 其割引ノ程度ニ依リマスルガ、割引ノ程度ハドウ云フコトヲ申シマシテモ、事實申込ンダ時分ニハ恐ラクハ是マデノ保険契約ナドハ無視シテヤハリ解約ニナッテシマフ、又今申上ゲマシタヤウナ割引ダケデハ從來ノ保険料ヲ支拂フト云フコトハ中々困難デアルト思フ、サウシマスルナラバ、ナイト思ヒマスガ、是モ前回來屢、申上ゲタノデアリマスケレドモ、大體ノ基準ト致シマシテハ不動ノ分詰リ普遍的ト申シマスカ、基本ニナリマス一つノ補償料ト、生命ニ對スル純保険料トノ二ツニ區分致シマシテ、ソレノ率ヲ平均三分ト計上致シタ譯デアリマス、ソレデゴザイマスカラシテ大體ノ目安カラ申シマスト、是ハマダモウ少シ詳細ニ

○高木政府委員 生命保険ノ保険證書ヲ提供スルカ或ハ補償料ヲ納メルカト云フコトハ、借主ノ方ノ任意ニナッテ居リマスカラシテ、御心配ノヤウナコトハナイト思ヒマス、其個々ノ場合ニ於テ、借方ノ方ニ於テ人一様ニ二分デハナイノデアリマシテ、年齢ニ應ジマシテ、一分ノ者モアリ、或ハ三分ノ者モアリ、或ハソレ以上ノ者ガアルカモ知レマセヌガ、兎モ角或ル期間ニ對スル定期保険ト云フヤウナ掛捨ノ保険ニナルノデスカラシテ、其率ヲ平均二分ト計上致シタ譯デアリマス、其部分ガ割引ヲサレルコトニナルノデアリマス

○坂東委員 サウ云フコトヲ申シマシテモ、事實申込ンダ時分ニハ恐ラクハ是マデノ保険契約ナドハ無視シテヤハリ解約ニナッテシマフ、又今申上ゲマシタヤウナ割引ダケデハ從來ノ保険料ヲ支拂フト云フコトハ中々困難デアルト思フ、サウシマスルナラバ、ナイト思ヒマスガ、是モ前回來屢、申上ゲタノデアリマスケレドモ、大體ノ基準ト致シマシテハ不動ノ分詰リ普遍的ト申シマスカ、基本ニナリマス一つノ補償料ト、生命ニ對スル純保険料トノ二ツニ區分致シマシテ、ソレノ率ヲ平均三分ト計上致シタ譯デアリマス、ソレデゴザイマスカラシテ大體ノ目安カラ申シマスト、是ハマダモウ少シ詳細ニ

○高木政府委員 生命保険ノ保険證書ヲ提供スルカ或ハ補償料ヲ納メルカト云フコトハ、借主ノ方ノ任意ニナッテ居リマスカラシテ、御心配ノヤウナコトハナイト思ヒマス、其個々ノ場合ニ於テ、借方ノ方ニ於テ人一様ニ二分デハナイノデアリマシテ、年齢ニ應ジマシテ、一分ノ者モアリ、或ハ三分ノ者モアリ、或ハソレ以上ノ者ガアルカモ知レマセヌガ、兎モ角或ル期間ニ對スル定期保険ト云フヤウナ掛捨ノ保険ニナルノデスカラシテ、其率ヲ平均二分ト計上致シタ譯デアリマス、其部分ガ割引ヲサレルコトニナルノデアリマス

○坂東委員 サウ云フコトニスルダラウト考ヘマス、其點ハ金庫トシテハ何レニ依ラシムルト云フヤウナコトニサセル積リハナイノデ、借主ノ方ノ選擇ニ任セル積リデアリマスカラ、只今御心配ノヤウナコトハナイト思ヒマス

○江藤委員 委員長、今ノ關聯事項デ……

○前田委員長 江藤君

○江藤委員 私モ今同僚坂東君ノ言ハレタコトヲ非常ニ心配致スノデアリマス、殊ニコトヲ非常ニ心配致スノデアリマス、殊ニコトヲ非常ニ心配致スノデアリマス、殊ニ

○高木政府委員 私共ノ考ト致シマシテハ、先般來申上ゲマシタヤウニ、恩給金庫ヲ受給者ノ良キ相談相手ト云フコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデ、サウ云フヤウナ希望ガアリマスル者ニ對シマシテハ、適當ニ附帶業務トシテ幾ラデモ方法ガアルト思フノデス、金庫自身ガ代ッテ納メテヤルト云フヤウナコトモ不可能デヤナイト思ヒマス、只今申上ゲマシタノハ其何レラ選ンデモ宜シイト云フコトヲ實ハ申上ゲタノデアリマス、金庫トシマシテハ、若シ受給者側カラシテ生

命保險料ヲ拂ッテ吳レト云フコトナラ、ソレニ對シテ適當ナ方法ヲ講ジテモ宜カラウカト思ッテ居リマス

○江藤委員 其點ハ借ル方ノ側ニ取リマシテハ非常ナ重大ナ實際問題ニナリマスカラ、ソレガ明ニナルコトハ最モ重要ナ事項グラウト思フノデアリマス、從來ノ如ク生命保険ハ恩給金庫デ拂ッテ戴イテ、尙且ツ利息ハ補償料ノ中約二歩ヲ減ジテ戴クト云フ風ニオヤリニナル御考デアリマスカドウデアリマスカラモウ一應確メテ置キタイト思ヒマス

○高木政府委員 其點ハ從來一般ニ行ハレテ居リマス金融ノ關係カラ申シマスト、生命保險料ヲ金融業者ガ立替ヘテ拂ッテ居リマス爲ニ、其保險料ニ對スル利子ガ亦非常ニ高率ニナル、其爲ニ元本ノ利子ト保險料ノ利子トデ結局元金ノ償却ガ殆ド出來ナイヤウナ狀況デアリマシテ、サウ云フコトノアリマセヌヤウニ、成ベク補償料ノミニ依ッテ短期間ノ保障ヲスル方ガ宜クハナイカト考ヘテ居リマス、併シ受給者ノ方ノ希望デ、生命保險ヲ付ケタ方ガ將來ノ爲ニ好イト云フコトデアリマスレバ、生命保險證書ヲ提供サセマシテ、ソレニ對シテ金庫ガ適當ナ方法デ比較的低利ニ立替拂ヲスルト云フコ

トモ出來ナイト思ヒマス、ソレハ金庫ノ附帶業務トシテ、此法令ノ上カラモ出來得ルヤウニ考ヘマス

○江藤委員 唯生命保險料ダケガ加ハリマスル爲延ビルト云フダケデアリマシテ、特ニ生命保險料ニ對スル利率ガ非常ニ高イト云フ譯デハナインデアリマスカラ、左様ニシテ戴イテ、利子ヲ引イテ戴クト云フコトハ、借り側ト致シマシテハ、恐ラク全部ガ左様ニ希望致スグラウト思ヒマス、私ノ關聯質問ハ是デ終リマス

○松田委員 昨日其點ヲ私質問ヲシタノデスガ、今日ハ少シ御答辯ガ違フヤウニ思ヒマス、今マデ所謂高利貸ノ手數料ノヤウナモノヲ大體ソレニ含メテ居リマスカラ、ソレデ昨日御尋シタノデアリマス、所デ今スガ、其事ハ「恩給金庫設立要綱」ノ「第一恩給金庫ノ機能」ノ中ノ「實行方法」ト云フ中ニ其方ハ希望ニ依ツテ外ニスル途ガアルト云フナラバ、此法律ノ内容ハドチラヘモ行ケルト云フコトニ明文ノ上ニ示サレテ置カネバナラヌ、其邊ノ融通ハ將來ニ於テスルト云フコトダケデハ、今マデノ法律ヲ見マシテモ、委員會、若クハ本會議デサウ云フヤウナ御答辯ガアッテモ、實際ノ取扱上實行サレ居ラナイ例ガ澤山アリマス、是ハ場合ハ違ヒマスガ、選舉法ノ改正ノ時ノ如キモ、隨分念ラ入レテ速記録ヲ見テ、吾々ガソレデ宜シトシテ選舉ヲヤッテ見ルト、實際取扱ガ違フト云フコトガ幾ラデモアリマスカラ、其點ヲモウ一應念ラ入レテ置キマス、ソレニシマシテハ、必シモ補償料ヲ取ルト云フ立前デハアリマセヌノデ、生命保險ヲ持ツテ居ル者ガアレバ、其生命保險證書ヲ此方ニ提供サセマシテ、割引ヲスル、其率ガドノ位ニナルカ、二分ニナルカ一分ニナルカト云フコトヲ昨日御話ガアリマシタカラ、無論其點ハ御承知ノコト考ヘテ居リマシタ

ニナツテ參リマシテ、三分ヲ天引シテシマフト云フナラバ、假ニ五百圓ヲ借リレバ其中三分ト云フモノヲ先ニ天引シテシマフノデアリマスガ、サウスルトソレヲ引イタダケノモノノ利子サヘ拂ッテ行ケバ宜シイカト云フト、サウデナク、天引サレタ金モヤ

ハリ元金ニ見込ンデ其利子ヲ拂ッテ行クカラ二重ニナツテ行ク、ソレガヤハリ之ニ織込マレテ居ル、是ガイカヌデハナイカト云フコトヲ昨日御尋シタノデアリマス、所デ今コトヲ希望ニ依ツテ外ニスル途ガアルト云フナラバ、此法律ノ内容ハドチラヘモ行ケルト云フコトニ明文ノ上ニ示サレテ置カネバナラヌ、其邊ノ融通ハ將來ニ於テスルト云フコトダケデハ、今マデノ法律ヲ見マシテモ、委員會、若クハ本會議デサウ云フヤウナ御答辯ガアッテモ、實際ノ取扱上實行サレ居ラナイ例ガ澤山アリマス、是ハ場合ハ違ヒマスガ、當初カラ恩給金庫ト致シテハ補償料ヲ徵シテ金庫白ラ責ニ任ズルモ保険ヲ附シ居ル者ニ付テハ補償料割引ノ方法ヲ採ルモノトス」ト書イテアリマス、載ツテ居ルノデゴザイマシテ、其第二ニ「恩給年金ノ死亡其ノ他ニ因ル失權ノ危險ニ對シテハ補償料ヲ徵シテ金庫白ラ責ニ任ズルモ保険ヲ附シ居ル者ニ付テハ補償料割引ノ方法ヲ採ルモノトス」ト書イテアリマス、

之ヲ御覽下サイマシタナラバ、其點ハ明ニナルト思ヒマスガ、當初カラ恩給金庫ト致シマシテハ、必シモ補償料ヲ取ルト云フ立前デハアリマセヌノデ、生命保險ヲ持ツテ居ル者ガアレバ、其生命保險證書ヲ此方ニ提供サセマシテ、割引ヲスル、其率ガドノ位ニナルカ、二分ニナルカ一分ニナルカト云フコトヲ昨日御話ガアリマシタカラ、無論其點ハ御承知ノコト考ヘテ居リマシタ

望ニ依ツテ政府ハ斯ウスルト云フコトヲ明ニシテ書イテ置イテ貰フ必要ガアルノデハナイカ、政府カラ發行サレタ印刷物ニ明ニ載ツテ居ル、サウシテ裏面ニサウ云フコトヲ言ハレテモ、吾々ハ信用スルコトガ出來ナイ、ソレハ如何デスカ

マスル金融ノ場合ニ、手數料ノ中ニ總テノモノガ入ッテ居ルト云フ風ニ御考デアルカノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハサウデハナイノデアリマス、多クノ金融業者ハ本當ノ手數料ト云フモノヲ取ルノデアリマス、保險金ノ支拂天引ト云フモノデハナク、利子ノ天引ノ外ニ一定ノ手數料ヲ取ルノガ普通デス、ソレ以外ニ毎期ノ保險料ニ付テヘ貸付金ト同率ノ利子ヲ徵收シテ居ルノガ現在ノ市中ニ行ハレテ居リマス金融業者一般ノヤリ方デアリマス

○松田委員 ソレハ間違テ居リマス、ソレハホンノ少數ノ者ノコトデアツテ、實際ハサウデハアリマセヌ、是ハアナタ方ハ東京デヤツテ居ル者ヲ調べラレタノデアリマセウガ、地方デハサウデハアリマセヌ、ヤハリ切替ノ時ノ手數料ダケナノデス、最初借りル時ハ手數料ニ保險料ヲ含メタモノヲ天引致シテ居リマス、理窟ハ同ジコトニナルカモ知レマセヌガ、何レニシテモ借リル者ガ天引サレル金ノ利息ヲ出サネバナラヌカラ、昨日問題ニナツテ、高利貸ノヤルヤウナガ出タ、ソレニ對シテ先程ノ如キ御答ナラバ宜カツタ、今御記憶ニナケレバ速記錄ヲ御覽ニナレバ分リマス、私ハサウ聽キマシ

タ、ソレヲ今ノ御話デハアナタハ歩ヲ二分引クトカ何トカ言テ居ルガ、ソレハサウデハナイ、實際ハ一分シカ引カナイ、サウスレバ全部引括メタ利息ガ尙更高クナル、ソレデスカラ大體是ハスウ云フ風ニ御考ヲ願へバ宜イト思フ、詰リ恩給ガ取レナクナツタ時、若クヘ制限ヲサレタ時、又ハ減ッタ時、サウ云フヤウナ危険ヲ負擔スルノハ、ソレハ先ツ一定ノ率ヲ採ツテ、ソレデ差引ク、サウシテ貸ス金ガ大體六分利デアル、斯ウ云フ風ニシテ戴ケバ、吾々ハ六分ト云フコトヲ基本利子ニシテ、ソコカラ上ハ借ル本人ト金庫トノ間ニ自由契約ガ出來ルヤウニシテ戴ケレバキッパリスルガ、サウナツテ居ラヌ、其六分ガ高イカ安イカト云フコトハ是

○高木政府委員 大體ニ於テ御説ノ通リデアリマス、但シ其率ガ幾ラニナルカト云フコトハマダ具體的ニ申上ゲ兼ネマスケレドモ、是ヨリ高クナルコトハナイト思ヒマスガ、其ノ後順位者ノ受クベキ恩給又ハ年金ノ上ニ及ブコトナシ但シ特約ヲ以テ承諾ヲ爲シタル後順位者ノ受クベキ恩給又ハ年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」之ヲ詳シク御説明ヲ願ヒマス

○高木政府委員 一寸モウ一遍念ヲ押シテ置キマス、サウ致シマスト、今マデ保険ニ入ッテ居ル保険證書ヲ渡シテ、サウシテ金ヲ借りル時ハ六分ダケ支拂ヘバ宜イノデスカ

○高木政府委員 ソレハ此處ニ書イテアリマス通り、六分ノ利子ハ是ハ大體確定致シテ居リマシテ、ソレニ更ニ一分入ルコトニマス通リ、一分トスウキッパリト御決メニナルシテハ一分トスウキッパリト御決メニナルシト云フコトヲ言ツタノデゴザイマス、唯大體ノ原則ト致シマシテ「遺族ニ及ブコトナシ」ト云フコトヲ言ツタノデゴザイマス、唯實際問題ト致シマシテ、或ル場合ニ於テハ、其人ノ年齢其他ノ關係カラ致シマシテ、非

補償料ノ割引ニ付キマシテハ、昨日モ申上タ、ソレヲ今ノ御話デハアナタハ歩ヲ二分引クトカ何トカ言テ居ルガ、ソレハサウデハナイ、實際ハ一分シカ引カナイ、サウスレバ全部引括メタ利息ガ尙更高クナル、ソレデスカラ大體是ハスウ云フ風ニ御考ヲ願へバ宜イト思フ、詰リ恩給ガ取レナクナツタ時、若クヘ制限ヲサレタ時、又ハ減ッタ時、サウ云フヤウナ危険ヲ負擔スルノハ、ソレハ先ツ一定ノ率ヲ採ツテ、ソレデ差引ク、サウシテ貸ス金ガ大體六分利デアル、斯ウ云フ風ニシテ戴ケバ、吾々ハ六分ト云フコトヲ基本利子ニシテ、ソコガドウモハッキリ致シテ戴ケレバキッパリスルガ、サウナツテ居ラヌ、其六分ガ高イカ安イカト云フコトハ是

○塚本委員 一寸關聯シテ念ヲ押シテ置キタイト思ヒマス、サウシマスト保険ニ付スルコトヲ希望スル者ニ對シマシテハ、其希望ニ應ズルコトガ出來ル、此場合ニ於ケル補償料ト云フモノノ年三分ハ生命ニ對スルトハ間違デハナイノデアリマス

○坂東委員 ソコデ條文第二十五條ニ「公務員(之ニ準ズル者ヲ含ム)ガ其ノ受クル恩給又ハ年金ヲ擔保ニ供シタルトキハ其ノ效力ハ其ノ遺族ノ受クベキ恩給又ハ年金ノ上ニ及ブコトナシ但シ特約ヲ以テ承諾ヲ爲シタル遺族ノ受クベキ恩給又ハ年金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

常ニ貸出率ガ少イト云フ場合モアル、又ソレニ對シテ借手ノ方カラハ相當額ヲ貸シテ貰ヒタイト云フヤウナ場合ガアルグラウト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テ、遺族ガ其效力ヲ引受ケルト云フコトデアレバ、一定ノ基準以上ニ貸シ得ル途ヲ開イテモ宜イデハナカラウカ、サウ云フ意味ニ於テ此條文ヲ活用致サセタイト云フノデ、特ニ此條文ヲ置イタノデアリマス

○坂東委員 現在ノ恩給金融業者ハ其恩給ノ擔保行爲ガ法ノ禁止デアルガ故ニ、若シ本人ガ死亡シタ時ニヘ、當然債權ハ消滅シテシマッテ、諦メテシマフ、ソコデ其遺族ハ大威張デ扶助料ヲ受ケルコトガ出來ルノデス、所ガ第二十五條ニ依リマスト、其但書ノアル結果ト致シマシテ、例ヘバ甲ガ死ンデシマフト、其甲ノ遺族ハヤハリ恩給扶助料スナラバ、其甲ノ遺族ハヤハリ恩給扶助料スナラバ、現在ノ金融業者ハスル場合ニハ諦メテシマフ、隨テチヤント遺族ハ扶助料ヲ貰ヒマスケレドモ、此但書アルガ爲ニ、金庫ニ取上ガラレテシマッテ、遺族ハ路頭ニ迷フ者モ生ズルコトト思フ、非常ニ不合理ナ殘酷ナ寧ロ陷縛的ナ規定デアル思ヒマスガ、尙ホ其點ヲ説明シテ戴キタイ

○高木政府委員 別ニ陥縛デハナイノデアリマシテ、此法文ノ通リ素直ニ御覽ヲ願ツタラ宜イト思ヒマス、即チ効力ハ其借リタ本

人ガ負ベキデアッテ、遺族ニヘ及バナインデアリマス、併シ遺族ガ承諾スルト云フコトデアレバ、其本人ノ自由意思デアリマス

○高木政府委員 遺族ヲ苦シメル意思デハナイノデアリマシテ、苦シメザルガ爲ニ此規

定ヲ置キマシテ、本則トシテ遺族ニ效力ヲ及ボスコトナシトシテアリマス、唯遺族ガ特約ヲ以テ承諾ラシタ場合ニ於テハ之ニ及ボスト云フノデスカラ、遺族モ無論其コトヲ諒解ノ上デヤルノデ、別段ソレガ爲ニ遺族ヲ苦シメルコトニハナラナイノデアリマス

○坂東委員 ドウモ政府ノ御答辯ヲ聽イテ居リマスト、恩給金庫自身ガ世間デ所謂高利

貸ノヤウナ考デハナイカト思フ、既ニ三分

原則トシテ遺族ニハ及ボサナイト言ウテ置キナガラ、但書ニ遺族ガ承知スルナラバ、扶助料ヲ取ラレルコトニナツテ居ル、陥縛ヲ設

ケテ居ルヤウナモノデアル、現在ノ金融業者ハスル場合ニハ諦メテシマフ、隨テチヤ

ンデ居ル、然ラバ廣イ意味カラ考ヘマスル

ナラバ、恩給權者又ハ年金權者ガ死ンダ場

合ニハ、ヤハリ缺損ト見ルベキモノデナケレバナラヌ、ソレヲ遺族ガ承知ナラバ、子

供デモ判サヘ押セバ宜シト云フコトハ、

甚ダ怪シカラヌト考ヘルノデアリマスガ、

苟モ恩給權者年金權者ヲ保護スル爲ニ作ル

シタヤウナ遺族ヲ苦シメルヤウナ最モ悪ド

イ規定モアル、又資金關係ヲ考ヘテ見マス

ナラバ、中々サウ註文通リニ六分デ貸シ得

ルヤウナ安イ資金ヲ得ル見込ハナイ、前途

益、金融界ハ逼迫シ、公債ノ募集ハ多クナッ

テ參リマスカラ、中々困難デアルト云フコトヲ考ヘラレル、又一ツ考ヘマスルコトハ、

或ハ生命保險ノ方カラ資金ヲ得ルト云フコトヲ申シマシタガ、生命保險カラ資金ヲ借りテ、サウシテ恩給金庫ガ儲ケテ恩給權者ニ金

ヲ貸スヨリハ、私ガ見マルナラバ生命保

險自身ガ直接ニ貸シ得ル方法ヲ立テマスル

ナラバ恩給權者ハ非常ニ安ク借り得テ助カ  
ルト思フ、若シ法ニ於テ擔保ヲ認メルトカ、  
其他ノ方法ヲ講ズルナラバ、生命保險會社  
ハ五分カ六分位デ以テ貸シ得ルノデス、サウ  
シテ見マスルナラバ、此様ニ非難ノアル法  
律ヲ作ルヨリハ、又見ス／＼一億五千万圓  
ナリ二億万圓ナリノ債權者ガ損害ヲ被ルヤ  
ウナ、問題ヲ生ズルヤウナモノヲ作ルヨリ  
ハ、民間ニ於テ之ヲヤラシテ政府ガ其弊害  
ノアル點ダケヲ十分ニ監督シ、又其惡弊ヲ根  
絶スル途ヲ講ズルコトガ、大局カラ見テ最  
モ適當ナモノト私ハ考ヘルノデアリマス、  
併ナガラ此善惡ニ付キマシテハ政府委員ト  
ハ意見ガ違ヒマスルカラ、私ハ今此處デハ  
敢テ討論ハ致シマセヌ

以上質問應答ノ模様ヨリ靜ニ考ヘマスト、  
恩給金庫法ノ制定ハ實ニ難カシイ、種々ナ  
ル點ニ於テ新タル弊害ヲ生ズルモノニア  
ルト云フコトヲ痛感致シマス、私ハ此程度  
デ質問ヲ終リマスガ、最初申シマシタ恩給ニ  
付テノ根本觀念ニ對スル近衛首相並陸軍大  
臣ニ對スル質問ハ之ヲ留保致シマシテ、私  
ハ今日ハ此程度デ打切りマス

○前田委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會  
致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲ  
マス

午後三時四十三分散會

昭和十三年一月二十六日印刷

昭和十三年一月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局